



Rotary
District 2680



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2019-20

GOVERNOR

Sachio Asaki

OFFICE

Kobe Portopia Hotel 722, 6-10-1,
Minatojima-Nakamachi, Kobe, Hyogo
650-0046, Japan



The Four-Way Test

Of the things we think, say or do

1. Is it the TRUTH ?
2. Is it FAIR to all concerned ?
3. Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIPS ?
4. Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

本年度の表紙 絵画提供:福田泰弘会員(神戸)

きれいな風景が好きで
板にあると描いています
童心にかえり夢中です
表紙絵に採用された光栄です

❖今月の表紙

ポルト フィーノ (イタリア)

イタリアは魅力あふれる芸術や文化があります。
ポルトフィーノは ジェノバに近い港町です。
入江をとりかこんだ 色とりどりのパステルカラーの町並みは
陽気でおしゃれなセンスが あふれています。



CONTENTS

月信1号

RI会長メッセージ・プロフィール……………	1
ガバナー就任にあたって……………	2
矢野宗司直前ガバナーへの謝辞・ガバナープロフィール…	4
ロータリークラブ対象のロータリー賞……………	5
RA対象、IA対象のロータリー賞……………	6
ロータリー会長特別賞……………	7
ガバナー公式訪問日程表……………	8
公式訪問に関するお願い……………	9
RI関係・地区への送金および報告……………	10
主要行事予定……………	11
地区内ロータリークラブ一覧表……………	12
ガバナー補佐とクラブ会長・幹事……………	14
地区組織表①委員長・副委員長……………	21
地区組織表②委員長・副委員長・小委員長……………	22
ガバナー事務所からのお知らせ／7月の地区予定…	25
コーディネーターニュース7月号……………	26
地区組織表①……………	27
地区組織表②……………	29

2019年地区研修・協議会

プログラム……………	32
部門別分科会……………	33
開会の言葉……………	34
挨拶 (RI理事) ……………	35
挨拶 (ガバナー) ……………	36
次年度RIテーマと地区活動方針……………	37
2019-20年度RI2680地区活動方針……………	39
地区研修・協議会によせて (次期地区研修リーダー) …	43
RI研修リーダー講話……………	44
ロータリー公共イメージコーディネーター講話…	46
ロータリー財団地域コーディネーター講話…	47
部門別分科会	
会長部門……………	48
幹事部門……………	49
クラブ管理運営部門……………	50
会員増強部門……………	51
職業奉仕部門……………	52
社会奉仕部門……………	53
国際奉仕部門……………	54
青少年奉仕部門……………	55
ロータリー財団部門……………	56
米山記念奨学部門……………	57
ガバナー所感……………	58
閉会挨拶……………	59

裏表紙 (出席報告)



ロータリーは 世界をつなぐ



ロータリーの礎は「つながり」です。若い弁護士としてシカゴにやって来たポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由、それは見知らぬ街でほかの人たちと「つながる」ことでした。それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類を見ません。

国際ロータリーには、地域社会とつながり、職業のネットワークを広げ、強くて永い関係構築ができる確固とした使命と構造があります。会員による数多くのプロジェクトやプログラム、ポリオ撲滅活動におけるロータリーのリーダーシップ、国連との協力などを通じ、私たちはグローバルコミュニティとつながっています。私たちの奉仕活動は、同じ価値観を共有し、より良い世界のために行動したいと願う人びとの結びつきをもたらします。また、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。

21世紀の新たな10年の始まりに、私たちはロータリーの未来を形作っています。2019-20年度、ロータリーは新しい戦略計画を実行に移し、規定審議会が採択した革新性に応え、より活性化された重点分野において活動します。しかし、ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

クラブはロータリーでの経験の中心部ですが、今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。これには例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することも含まれます。会員増強のア

プローチにおいては、組織立った戦略的・革新的な方策が必要です。そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

実際のところ、ロータリーは家族です。そうであるにも関わらず、会員組織の構造やリーダーシップの要求などがあることで、今日の若い職業人にとってはロータリーが手の届きにくい存在となっているようです。ロータリーは、家族との時間を犠牲にするのではなく、家族との時間を補うような経験を提供する場である必要があります。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気があれば、家族と奉仕活動は両立でき、家族志向の若い職業人にロータリー奉仕や市民としての参加の機会を提供できます。また、ロータリーの役職に対する期待事項を、多忙な職業人にあわせて現実的かつ管理可能なものとするすることで、将来ロータリーのリーダーとなる次世代のロータリアンのスキルを高め、ネットワークを築くことができるでしょう。

2019-20年度には、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。

マーク・ダニエル・マローニー
2019-20年度国際ロータリー会長

Profile

マーク・ダニエル・マローニー 氏

Decaturロータリークラブ所属。アラバマ州（米国）出身。

税法、遺産、農業法を専門とする Blackburn, Maloney, and Schuppert法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、米国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラバマ州法律協会の会員です。

地元ジケーターでも熱心に活動し、自身が所属する教会の財務委員長と地元カトリック学校理事長のほか、Community Foundation of Greater Decatur会長、Morgan County Meals on Wheels会長、United Way of Morgan County理事、Decatur-Morgan County商工会議所の所長を務めています。1980年にロータリークラブ入会し、以来、RI理事、財団管理委員と副管理委員長、ジョナサン・マジニアベ2003-04年度会長のエイドを務めました。また、規定審議会の議長と副議長、運営議事手続きの専門家、研修者のほか、2004年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014年シドニー国際大会の委員長も務めました。

ガバナーとなる前には、研究グループ交換のリーダーとしてナイジェリアに赴いた経験もあります。

ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、ロータリー財団地域コーディネーター、財団研修セミナーのモデレーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、WASH（学校での水・衛生）委員会のアドバイザーを歴任しました。

同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーター・ロータリークラブの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。

クラブ会長の皆様 クラブ幹事の皆様



国際ロータリー第2680地区

ガバナー 浅木 幸雄 (神戸)

時あたかも令和改元の記念すべき年度に大任を拝命した光栄を皆様とともに慶び、それに相応しい「Connect つなぐ」「Transform 変革する」行動を以て、皆様と共に一步一步進んで参りたいと存じております。

今から45年前、32歳で神戸ロータリークラブに入会以来、さまざまな活動と経験を通じて、人生に於ける良きご指導を受けて参りました。そして数多くの素晴らしい友に巡り会えたことは、現在の私にとって何物にも代えがたい財産です。その精一杯のご恩返しとして、あらためてロータリーの道場に入り直し、さらに勉強を重ねつつ奉仕する決意でございます。

当地区にもその間、延べ32年に亘りお手伝いして参りましたが、いま以て印象深いのは、1989-90（飯尾精ガバナー）年度の財団GSEプログラム（現在のVTT）として訪問した、163地区（現1630地区）ベルギー・ルクセンブルグに於ける国際奉仕の思い出です。当地区選出のGSE団長として体験した38日間は、当時のHugh Maurice Archer RI会長の提唱テーマ

Enjoy Rotary ロータリーを楽しもう

そのままに、若人の力強いアクティビティを肌で感じる、文字通りの楽しい、忘れ難いものでしたが、

その素晴らしい思い出とともに、以降この簡潔で意味深い「Enjoy Rotary」は、私のロータリー活動すべてにおける信条となりました。

以来この信条に従って大いにロータリーを楽しみ、学んでいたのですが、2007-8年度のクラブ会長退任を契機に「もうそろそろ」という心境から、ロータリー活動は一区切り、などと考えていた折も折、必ずしも充分とは云えない体調ゆえの迷いはありましたが、尊敬する二人の大先輩、松岡・加藤両パストガバナーから「神戸クラブから13年ぶりのガバナーを」という、勿体なくもたいへん強いご要請を戴き、微力ながら謹んで大任をお受けすることに致しました。

さて、その後2年間ノミニー、エレクトとして勉強させていただき夙に感じたのは、ロータリーを巡る社会環境の、想像を越えた変化とそのスピードの激しさ、速さです。身近な例としては、手許に届くメールや通信のおびただしい量にまず度肝を抜かれ、あらためて大変な仕事を仰せつかったものだ、と思い知ることから始まったのですが、とりわけRIが次々に打ち出す変革の背後にある、巨大な多様化のうねりと、それを受け容れてなお、成長せねばならないロータリーの在り方については幾度も悩み、また諸先輩の力強い活動を見るにつけ、ますますその答えを見出すことの難しさを感じずには居られま

せんでした。

しかし、今年度Mark Daniel Maloney RI会長の打ち出された、これまた簡潔で意味深いテーマ

Rotary Connects The World

ロータリーは世界をつなぐ

は、その困難な答えを導く、一つの明瞭な指針なのではないでしょうか。

今なお他に類を見ないロータリーの「つながり」は、ロータリアンのみならず、リーダー、家族、職業、文化、地域、ひいては世界をつなぐ、というロータリー会長の力強い呼びかけは、いま私にとって、また皆様にとっても何よりの力になるものと信じております。

このテーマを敷衍し、当地区のさまざまな課題に挑みつつ、この困難な時代にあってなお、私たちのロータリーを成長させるため、皆様と共に考え、行動せねばなりません。

幸いにして我がホーム、神戸ロータリークラブは多士済々、さらには選りすぐりのガバナー補佐各位をはじめ、ベテラン・新鋭バランスの取れた精鋭揃いの地区役員、ガバナー事務所の皆さん、そして何より尊敬する先輩諸兄からも身に余るご助力を得て、たいへん心強く感じている次第です。

これから一年間、共にロータリーを楽しみつつ、皆様にはどうか暖かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ガバナー 浅木 幸雄 (神戸)

「心優しいブルドーザー」矢野直前ガバナーのパワーは文字通り物凄く、また一方では折に触れてお尋ねした際など、常に懇切かつ的確な回答でご助力くださり、その都度大いに学ばせて戴きました。あらためまして篤く感謝申し上げる次第です。

矢野ガバナー（当時）は終始一貫、RIテーマである「インスピレーションになろう Be the Inspiration」の具現を目指し、常に先頭に立って実践してこられました。

なかんずく、一般市民を含む75,000人もの参加者を数えた「ひょうご五国+ワールドフェスタ」をはじめ、8つのセミナーを一日で開催する「ロータリー研修デー」など、次々に打ち出された新機軸は、外にあってはRotaryの公共イメージを大いに高め、内にあっては諸行事の効率化と遠方からの参加者への配慮において各々目覚ましい成果を挙げられました。

そして、その集大成と云えるのが、地元、加古川市で開かれた地区大会だったのではないのでしょうか。まさに「我が街で開く、我が地域の地区大会」という、今後に於ける一つのかたち、お手本を示されたものと重く受け止めておりますが、それだけに開催に当たっては、たいへんなご苦心、

ご苦労があったものと思います。ホームクラブ加古川中央RCの皆様をはじめ、周辺全地域を挙げたのバックアップは、矢野ガバナー（当時）の熱い思いが隅々まで伝わったゆえの成果であり、素晴らしい成功に導かれたその情熱に、あらためて賛辞を捧げたいと存じます。

最後に、そのブルドーザーの助手席に、また時には運転席？におられた多賀子令夫人ともども、後進よりここからの謝意をこめて労わせてください。

矢野さん、一年間ほんとうにお疲れさまでございました。

併せて今後とも尚一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



— Governor Profile 浅木幸雄 (あさき さちお) プロフィール

■ 略 歴

1964年 甲南大学卒業
同 年 仏：Université de Lyon留学（語学・文化・調理・ワイン）
1966年 レストラン「北野クラブ」「ブランドゥブラン」（神戸市中央区）ほか輸入・免税店業務を含む経営参画。
代表取締役社長、現・代表取締役会長。

■ ロータリー歴

1974年9月 神戸ロータリークラブ入会
職業分類：料理店 Restaurant
1982-83年度 幹事
2007-08年度 会長
1981-06年度 地区委員の他、ロータリー財団GSE委員長・国際奉仕委員長・社会奉仕委員長
Major Donor、ベネファクター、米山功労者(マルチプル)

● ● ● ロータリークラブ対象のロータリー賞 ● ● ●

ロータリークラブ対象のロータリー賞は、ロータリー戦略計画の優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

クラブがMy ROTARYでクラブ・会員の情報を更新している限り、多くの項目の達成状況は、国際ロータリーで自動的に確認することができます。いくつかは、ロータリークラブ・セントラルなどのオンラインツールを使って、クラブが達成状況を入力する必要があります。ロータリー賞の受賞資格を満たすには、年度開始時から終了時までクラブが正規にRIに加盟していることが条件となります。2019年7月1日時点の会員数と比較して算出され、2020年7月1日時点の会員数が確定する2020年8月15日以降に表彰されます。

人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも5項目を達成

- 少なくとも5名の会員から成るクラブ会員増強委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
- 会員1名の純増を達成する。
- 既存会員と新会員の維持率を維持または改善する：
 - クラブの会員維持率を1ポイント上げる。
 - または
 - 2018-19年度のクラブの会員維持率が90%以上である場合、これを維持する。
- 女性会員または40歳以下の会員1名の純増を達成する。
- 会員の職業を調べるために職業分類調査を実施し、地域社会にあるビジネスと専門職の実情に沿った会員基盤を築くために活動する。
- 新しいロータリークラブまたはロータリー地域社会共同隊のスポンサーまたは共同スポンサーとなる。
- インターアクトクラブまたはローターアクトクラブを提唱または共同提唱する。
- ロータリー学友のための行事を開催し、ロータリーでネットワークを広げる機会を紹介する。
- 青少年交換学生またはRYLA参加者を派遣する。

行動する

以下のうち少なくとも5項目を達成

- 少なくとも5名の会員から成るクラブ財団委員会を設置し、その委員長を国際ロータリーに報告する。
- 奉仕プロジェクトに関与する会員数を増やす。
- 年次基金への会員一人当たりの平均寄付額が少なくとも100米ドルとなる。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）をRotary.orgに投稿する。
- 企業、政府団体、非政府団体とのパートナーシップを継続または確立し、プロジェクトで協力する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。
- クラブとロータリーの活動を伝えるためにクラブ会員がメディアと話す機会を手配する。

●●● ローターアクトクラブ対象のロータリー賞 ●●●

ローターアクトクラブ対象のロータリー賞は、ロータリーの優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、2019年7月分月1日よりも前に国際ロータリーにより認定されているローターアクトクラブであることが条件となります。クラブは、2020年8月15日までに、推薦書の提出を通じて、必要項目を達成したことを報告する必要があります。

人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも3項目を達成

- 会員1名の純増を達成する。
- 少なくとも50%の会員が、My ROTARYのプロフィールページに自分のスキルと関心を入力する。
- 双子クラブの関係を築く、または維持する。
- 「世界ローターアクト週間」やローターアクト創立記念日にイベントを実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。
- 提唱ロータリークラブと共に、ネットワークを広げる行事や交流活動に参加する。

行動する

以下のうち少なくとも3項目を達成

- ポリオプラスへの会員一人あたりの平均寄付額が25米ドルとなる。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- 提唱ロータリークラブと協力し、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）をRotary.orgに投稿する。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。

●●● インターアクトクラブ対象のロータリー賞 ●●●

インターアクトクラブ対象のロータリー賞は、ロータリーの優先事項を支えるために、以下に挙げられた活動項目を達成したクラブを称えることを目的としています。クラブは、これらの項目を達成するために丸1年間をかけて取り組みます。

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、2019年7月1日よりも前に国際ロータリーにより認定されているインターアクトクラブであることが条件となります。また、2019年7月1日よりも前に、成人のアドバイザー（顧問）が、自分の氏名と連絡先を国際ロータリーに報告する必要があります。提唱ロータリークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーが、2020年8月15日までに推薦書を提出します。

人びとをつなぐ

以下のうち少なくとも2項目を達成

- 若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、キャリア開発支援またはメンタリング活動を立ち上げ、参加する。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、卒業するインターアクトにローターアクトクラブを紹介する（ローターアクトクラブは大学と地域社会のどちらを基盤としてもよい）。
- 「世界インターアクト週間」やインターアクト創立記念日に活動を実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。

行動する

以下のうち少なくとも3項目を達成

- 「世界青少年奉仕デー」（Global Youth Service Day）のためのプロジェクトを計画、実行する。
- ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。
- 提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、ロータリーの6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。
- クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）を、提唱ロータリークラブまたはアドバイザーに頼んでRotary.orgに投稿してもらう。
- ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。

● ● ● ロータリー会長特別賞 ● ● ●

なお、今年度は、ロータリー賞の必須項目を達成し、さらに追加項目から1～3項目を達成したロータリークラブに、ロータリー会長特別賞が贈られます。

ロータリークラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- **リーダーをつなぐ**：会員5名以上の純増を達成する。
- **家族をつなぐ**：会員の家族、青少年プログラム参加者や地域社会のそのほかの人たちが参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- **職業や専門知識をつなぐ**：会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開始または継続する。
- **地域社会をつなぐ**：少なくとも月に4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動の情報を発信し、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。

インターアクトクラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- **リーダーをつなぐ**：会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ開発プログラムを開始または継続する。
- **家族をつなぐ**：会員の家族や友人が参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- **学業をつなぐ**：提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、地元のロータリークラブが提供している奨学金やそのほかの奨学金の機会を調べ、クラブにその結果を伝える。
- **地域社会をつなぐ**：クラブとその活動を紹介したビデオを「インターアクト・ビデオ賞」に応募して、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。

ローターアクトクラブ対象

ロータリー賞を達成し、さらに以下から1項目を達成した場合「シルバー賞」、2項目達成で「ゴールド賞」、3項目達成で「プラチナ賞」が贈られます。

- **リーダーをつなぐ**：会員5名以上の純増を達成する。
- **家族をつなぐ**：会員の家族や友人、青少年プログラム参加者や地域社会のそのほかの人たちが参加できる家族志向の奉仕プロジェクトを実施する。
- **職業や専門知識をつなぐ**：会員のスキルを向上させるため、リーダーシップ、自己研鑽、専門能力開発プログラムなどを開始または継続する。
- **地域社会をつなぐ**：少なくとも月に4回、ソーシャルメディアでクラブとその奉仕活動の情報を発信し、クラブ会員がいかに「世界を変える行動人」であるかを示す。

ガバナー公式訪問日程表

日	曜	型	クラブ名	日	曜	型	クラブ名	日	曜	型	クラブ名	日	曜	型	クラブ名	日	曜	型	クラブ名	日	曜	型	クラブ名				
7月				8月				9月				10月				11月				12月							
1	月			1	木	N	神戸西神	1	日			1	火	N'	川西猪名川	1	金			1	日			1	日		
2	火			2	金	N	高砂	2	月	N	西脇	2	水	N	姫路西	2	土			2	月			2	月		
3	水			3	土			3	火	N	西宮	3	木	N	淡路三原	3	日			3	火			3	火		
4	木			4	日			4	水	N	生野	4	金			4	月			4	水			4	水		
5	金			5	月	N	宝塚	5	木	N	赤穂	5	土			5	火	C	神戸中	5	木			5	木		
6	土			6	火			6	金	N	三木	6	日			6	水	C'	宝塚中	6	金			6	金		
7	日			7	水	N	明石	7	土			7	月	B'	姫路東	7	木	N	尼崎南	7	土			7	土		
8	月			8	木	B'	明石東	8	日			8	火	N	北条	8	金			8	日			8	日		
9	火			9	金			9	月	N	尼崎	9	水			9	土			9	月			9	月		
10	水			10	土			10	火	N	三田	10	木	N	龍野	10	日			10	火			10	火		
11	木			11	日			11	水	N	篠山	11	金	N	尼崎北	11	月			11	水	N	加古川平成	11	水	N	加古川平成
12	金			12	月			12	木			12	土			12	火	N*	香住	12	木	N	和田山	12	木	N	和田山
13	土			13	火			13	金	N'	柏原	13	日			13	水	N	芦屋	13	金		HYOGO REC	13	金		HYOGO REC
14	日			14	水			14	土			14	月			14	木	N	西宮恵美寿	14	土			14	土		
15	月			15	木			15	日			15	火	N	神戸東	15	金			15	日			15	日		
16	火			16	金			16	月			16	水	N	津名	16	土			16	月			16	月		
17	水			17	土			17	火			17	木	N	神崎	17	日		ロータリー研究会・他RI行事	17	火			17	火		
18	木	N	加古川中央	18	日			18	水	N	相生	18	金	N	上郡佐用	18	月			18	水	D	西宮イブニング	18	水	D	西宮イブニング
19	金			19	月	N	姫路南	19	木	C	神戸垂水	19	土			19	火			19	木	A N	神戸モーニング神戸	19	木	A N	神戸モーニング神戸
20	土			20	火	N	洲本	20	金	N	南淡路	20	日			20	水			20	金			20	金		
21	日			21	水	N	神戸須磨	21	土			21	月	N	神戸東灘	21	木			21	土			21	土		
22	月			22	木			22	日			22	火			22	金			22	日			22	日		
23	火	N	加古川	23	金			23	月			23	水	N	尼崎東	23	土			23	月			23	月		
24	水			24	土			24	火	N	明石北	24	木			24	日			24	火			24	火		
25	木	N B'	伊丹丹宝塚武庫川	25	日			25	水	N	小野加東	25	金	N	豊岡	25	月			25	水			25	水		
26	金	N	西宮夙川	26	月			26	木	C	三田南	26	土			26	火	N	豊岡円山川	26	木			26	木		
27	土			27	火	N	尼崎西	27	金			27	日			27	水	C'	あわじ中央	27	金			27	金		
28	日			28	水	N C	甲子園 尼崎中	28	土			28	月	C'	三木みどり	28	木	C	伊丹昆陽池	28	土			28	土		
29	月	B'	神戸南	29	木			29	日			29	火	N C	神戸ベイ 神戸六甲	29	金	N	神戸西	29	日			29	日		
30	火	N	姫路	30	金	N	川西	30	月	N	芦屋川	30	水	N	高砂青松	30	土			30	月			30	月		
31	水			31	土	N'	伊丹有明					31	木	N	姫路中央					31	火			31	火		

タイプ	会長・幹事懇談会	例会
A	8:00~9:00	7:00~7:45
N*	11:05~12:05	12:20~13:20
N	11:15~12:15	12:30~13:30
N'	11:45~12:45	13:00~14:00

タイプ	会長・幹事懇談会	例会
B	16:15~17:15	17:30~18:30
B'	16:45~17:45	18:00~19:00
C	17:15~18:15	18:30~19:30
C'	17:45~18:45	19:00~20:00
D	18:00~19:00	19:15~20:00

公式訪問に関してのお願い

公式訪問はガバナーにとって最も重要な任務の1つです。

ガバナー補佐が、公式訪問の2～3週間前にクラブ協議会に参加し、クラブの現況をガバナーに報告します。

その報告により、ガバナーが公式訪問し、次のような項目を実施します。

1. 会長・幹事懇談会で、クラブの現況やクラブの抱える問題点を協議する。
2. 例会での卓話を通じて、奉仕の理想やRIテーマを語り、会員とのコミュニケーションを深める。
3. 会長・幹事懇談会や卓話の中で、ガバナーの行動方針等を確認する。

ガバナー補佐の報告如何によっては、ガバナーが再度クラブ協議会開催を要請する場合があります。

①書類送付について

下記の資料（No.1～6）をご送付ください（クラブにて必ず控えを保管してください）。

1. クラブ現況報告書（クラブ年次報告書など）
2. クラブ定款
3. クラブ細則
4. 充填、未充填職業分類一覧表
5. クラブ週報（直近の2週間分）
6. 公式訪問会場への交通案内図・最寄の駐車場地図
（会長・幹事懇談会、例会場が異なる場合には、それぞれの会場名、所在地、電話番号、交通案内図をご送付ください）

※寄付目標・増強目標などを含め、次年度のクラブ情報を5月末までにロータリークラブ・セントラルより入力してください。

提出者	提出先	部数	期限
会長・幹事	ガバナー補佐	1部	クラブ協議会の1週間前必着
	ガバナー（ガバナー事務所）	1部	公式訪問の2週間前必着

②会長・幹事懇談会

会議時間は例会開始前の約1時間として、出席者はクラブ会長・幹事とガバナー・随行者の4名のみを予定しています。

③公式訪問例会

例会でのガバナーの卓話は25分程度を予定しています。

※大変恐縮ですが、公式訪問後の飲食のお誘い及び、お土産等のお気遣いは一切無用にお願い申し上げます。

1. 各種送金

期 日	事 項	金 額	振込先	送金先	備 考
2019年7月1日 (前期) および 2020年1月1日 (後期)	(1)人頭分担当金 (7/1・1/1入会者含む)	半期34ドル 2016年規定審議会決定	RI日本事務局経理室 (写)ガバナー事務所	三井住友銀行 新宿通支店 普-6733244 国際ロータリー日本事務局	国際ロータリーよりメールにて 請求書が送られます 請求書記載通りに振込みください {送金時のロータリーレートを ご確認ください}
	(2)比例人頭分担当金 (毎月2日以降入会者)	[34÷6×在籍月数]ドル (入会翌月より起算)			
	(3)規定審議会分担当金	前期のみ1.0ドル (7/1会員数)			
	(4)ザ・ロータリアン(英文) 購読料(購入希望者のみ)	半期12ドル			
	(5)ロータリーの友購読料	半期1,296円	一般社団法人 ロータリーの友事務所	三井住友銀行 浜松町支店 普-7450015 一般社団法人ロータリーの友事務所	中途入会者は月額1部216円 にて計算ください
	(6)ロータリー財団への寄付	公益財団法人ロータリー日本財団への寄付:年次基金:その他の基金および恒久基金等 (個人および法人からの寄付は税制上の優遇措置の対象・書式Aを使用)	RI日本事務局経理室	三井住友銀行 赤羽支店 普-3978101 公益財団法人ロータリー日本財団	指定書式をご使用ください
	(7)公益財団法人ロータリー米山記念奨学会への寄付 (但し特別寄付は随時可)	半期2,000円以上 (各クラブにて決定)	公益財団法人ロータリー米山記念奨学会	三井住友銀行 京橋支店 普-0920373 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会	
その都度	RI文献の申込み		RI日本事務局資料室	三井住友銀行 新宿通支店 普-6733244 国際ロータリー日本事務局	料金は前払い 英文の文献も取寄せ可能
2019年7月1日 (前期) および 2020年1月1日 (後期)	(8)地区資金	半期5,000円	ガバナー事務所	三井住友銀行 神戸営業部 普-9791353 国際ロータリー第2680地区 一般会計	中途入会者は翌月より起算して 月額850円
	(9)地区活動資金	半期2,000円			中途入会者は翌月より起算して 月額350円
	(10)ガバナー月信	半期1,100円			中途入会者は翌月より起算して 月額200円
2019年7月1日 (前期のみ)	(11)地区大会分担当金	8,000円			2020年1月末日までの中途 入会者は全額
	(12)地区VTT分担当金	1,000円			2020年5月末日までの中途 入会者は全額

2. 各種報告

期 日	事 項	報告先	備 考
2019年7月1日 (前期) および 2020年1月1日 (後期)	クラブ請求書発行のための会員情報報告確認	RI本部	My ROTARYオンライン報告 会長・幹事あるいは事務局職員(会長が承認し登録されている場合)
		ガバナー事務所	地区Web管理システムによるオンライン報告
毎月	会員数・出席率報告	ガバナー事務所	翌月15日までにオンラインフォーム入力
2020年 2月1日までに	次年度会長・幹事の決定報告	RI本部	My ROTARYオンライン報告 会長・幹事あるいは事務局職員(会長が承認し登録されている場合)
	次年度クラブ情報アンケート (次年度会長・幹事、クラブ事務所、例会場住所確認、 クラブ周年行事等)	ガバナー事務所	地区Web管理システムによるオンライン報告
2020年 4月30日までに	国際大会信任状(投票代議員カード) (クラブが国際大会に代議員または補欠を派遣しない 場合、地区内クラブの大会出席者に委任可能)	ガバナー事務所	国際ロータリーよりメールにて所定用紙が送られます
その都度	入会・退会・住所・職業分類・その他の変更	RI本部	My ROTARYオンライン報告 会長・幹事あるいは事務局職員(会長が承認し登録されている場合)
		ガバナー事務所	地区Web管理システムによるオンライン報告
	会長・幹事・クラブ役員の変更	RI日本事務局 ガバナー事務所 ロータリーの友事務所	My ROTARYオンライン報告 会長・幹事あるいは事務局職員(会長が承認し登録されている場合) 地区Web管理システムによるオンライン報告
	事務所・例会(場所・日時)の変更		地区Web管理システムによるオンライン報告
	新クラブ・インターアクトクラブ・ローターアクトクラブの誕生		
クラブ活動状況報告および写真	ガバナー事務所 ロータリーの友事務所		

地区行事		
2018年	12月16日(日)	2019-20年度補助金管理セミナー
2019年	2月17日(日)	2019年地区チーム研修セミナー
	3月17日(日)	2019年会長エレクト研修セミナー (PETS)
	5月11日(土)	2019年地区研修・協議会
	6月8日(土)	会員増強セミナー
	6月9日(日)	米山記念奨学生・学友交流会
	6月9日(日)	2019-20年度インターアクト会長・幹事研修会
	7月7日(日)	米山記念奨学セミナー
	7月10日(水)	補助金管理説明会
	7月14日(日)	ローターアクト地区交流会
	8月17日(土) ～18日(日)	第37回インターアクト地区年次大会
	9月7日(土)	米山カウンセラー・奨学生合同ミーティング
	9月8日(日)	アクトの日
	9月29日(日)	2020-21年度第1回次期ガバナー補佐研修会
	11月10日(日)	米山日本文化セミナー
	11月23日(土・祝)	米山面接官オリエンテーション
	12月1日(日)	ロータリー研修デー
	12月8日(日)	2020学年度米山記念奨学生面接選考会
	12月15日(日)	2020-21年度第2回次期ガバナー補佐研修会
	12月15日(日)	2020-21年度補助金管理セミナー
	2020年	1月25日(土)
2月9日(日)		青少年交流会
2月16日(日)		2020年地区チーム研修セミナー
2月22日(土) ～23日(日)		地区大会
2月下旬		2021学年度米山記念奨学金説明会
3月8日(日)		2019学年度米山記念奨学生歓送会
3月15日(日)		2020年会長エレクト研修セミナー(PETS)
4月5日(日)		2020学年度米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション
4月12日(日)		ローターアクト指導者育成セミナー
4月29日(水・祝)		2020年地区研修・協議会
5月21日(木) ～24日(日)		第42回RYLAセミナー
6月14日(日)		ローターアクト地区年次大会

国際ロータリー強調月間・行事		
2019年	7月13日(土)	第3ゾーン戦略計画推進セミナー
	8月	会員増強・新クラブ結成推進月間
	9月	基本的教育と識字率向上月間
		ロータリーの友月間
	10月	経済と地域社会の発展月間
		米山月間
	10月7日を含む1週間(月～日曜日)	ロータリー学友参加推進週間
	11月	ロータリー財団月間
	11月5日を含む1週間(月～日曜日)	世界インターアクト週間
	11月16日(土)～19日(火)	第48回ロータリー研究会
	12月	疾病予防と治療月間
	2020年	1月
1月27日を含む1週間		追悼記念週間
2月		平和と紛争予防／紛争解決月間
2月23日(日)		ロータリー創立記念日
		世界理解と平和の日
3月		水と衛生月間
3月13日(金)		世界ローターアクトの日
3月13日を含む1週間(月～日曜日)		世界ローターアクト週間
4月		母子の健康月間
5月		青少年奉仕月間
6月	ロータリー親睦活動月間	
6月6日(土)～10日(水)	RI国際大会 (ハワイ・ホノルル)	

IM	
尼 崎グループ	2019年11月23日 (土)
阪神第1グループ	2020年3月14日 (土)
阪神第2グループ	2020年2月29日 (土)
阪神第3グループ	2020年2月8日 (土)
神戸第1グループ	実施なし
神戸第2グループ	2020年2月15日 (土)
東播第1グループ	2019年11月30日 (土)
東播第2グループ	2020年2月8日 (土)
東播第3グループ	2020年2月8日 (土)
淡 路グループ	2020年2月2日 (日)
西播第1グループ	2020年3月7日 (土)
西播第2グループ	2019年11月2日 (土)
但 馬グループ	2019年11月24日 (日)

※予定は今後変更になる場合があります

地区内ロータリークラブ一覧表

地区	クラブ名	上段会長 下段幹事	〒	事務所 E-mail アドレス	上段 TEL 下段 FAX	例会場	上段 TEL 下段 FAX	例会	
								曜日	時間
6 尼崎	尼崎	藤井 一成 大村 竜一	660-0882	尼崎市昭和南通3-1 尼崎第2松本ビル3階 amagasakirc@hcc1.bai.ne.jp	06-6411-1200 06-6411-4340	〒660-0881 尼崎市昭和南通3-96 尼崎商工会議所7階	06-6411-2251 06-6413-1156	月	12:30
	尼崎北	下境田耕治 野上 秀之	660-0881	尼崎市昭和南通2-7-1 ニューアルカイクビル1階 anrc@amagasakinorthrotaryclub.org	06-6481-4595 06-6481-4755	同 左 都ホテル尼崎2階	06-6488-7777 06-6488-0700	金	12:30
	尼崎東	森本 吉昭 三田 恭男	660-0882	尼崎市昭和南通3-1 尼崎第2松本ビル3階 amerc@hera.eonet.ne.jp	06-6411-1200 06-6411-4340	〒661-0976 尼崎市潮江1-4-1 ホテルヴィスキオ尼崎	06-6491-8511 06-6491-8575	水	12:30
	尼崎西	清川 浩志 吉岡 秀之	660-0881	尼崎市昭和南通2-7-1 ニューアルカイクビル9階 amawest@crocus.ocn.ne.jp	06-6487-0090 06-6487-0091	同 左 都ホテル尼崎2階	06-6488-4777 06-6488-0711	火	12:30
	尼崎南	黒田 佳治 徐 幸一	660-0881	尼崎市昭和南通2-6-68 尼崎中小企業センター5階 amasrc@amagasaki-southrc.com	06-6401-7573 06-6401-7590	〒660-0881 尼崎市昭和南通2-7-1 都ホテル尼崎2階	06-6488-7777 06-6488-0711	木	12:30 ※秋分の日 18:30
	尼崎中	平井 裕子 二神 敏行	660-0881	尼崎市昭和南通2-7-1 ニューアルカイクビル9階 amagasakinaka@poppy.ocn.ne.jp	06-6487-0125 06-6487-0091	同 左 都ホテル尼崎2階	06-6488-4777 06-6488-0711	水	18:30
6 阪神第一	伊丹	田中 久雄 村上 功	664-0895	伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹商工会議所内 icci19@itami.or.jp	072-773-1375 072-775-1223	〒664-0851 伊丹市中央6-2-33 伊丹シティホテル (期間:2019年6月~2020年3月)	072-777-1111 072-777-2312	木	12:30
	川西	三宅 圭一 鴨井 金	666-0021	川西市栄根2-7-70 マルミヤ電化ビル3階 kawanishi-rc@alto.ocn.ne.jp	072-757-5566 072-755-0785	同 左	072-757-5566 072-755-0785	金	12:30
	伊丹有明	辻野 信博 岩崎 健二	664-0895	伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹経営者協会内 ariake@muse.ocn.ne.jp	072-785-1551 072-773-2700	〒664-0851 伊丹市中央6-2-33 伊丹シティホテル	072-777-1111 072-777-2312	土	13:00
	川西猪名川	吉岡 康裕 中原 佳子	666-0011	川西市出在家町1-8 川西市商工会館1階 kawainar2@kagoya.net	072-757-8824 072-757-8824	同 左 川西市商工会館3階特別会議室	072-757-8824 072-757-8824	火	13:00
	伊丹昆陽池	前田 治男 藤本 耕二	664-0012	伊丹市緑ヶ丘1-230-1 rotary@poporo.ne.jp	072-785-1300 072-785-1300	〒664-0851 伊丹市中央6-2-33 伊丹シティホテル	072-777-1111 072-777-2312	木	18:30
	西宮イブニング	梅原可奈子 松嶋 洋子	663-8114	西宮市上甲子園1-8-10 藤崎方 nishi.eve.rc@gmail.com	0798-20-0217 0798-20-0217	〒663-8204 兵庫県西宮市高松町4-8 フレッシュのみや4階 西宮市共済同参事センター(ウェーブ)	0798-64-9495 0798-64-9496	第24 水	19:15
6 阪神第二	西宮	早瀬 利典 遠藤 剛	663-8166	西宮市甲子園高潮町3-30 ホテルヒューイット甲子園内 nrc@silver.ocn.ne.jp	0798-48-4900 0798-48-4811	同 左 ホテルヒューイット甲子園	0798-48-1111 0798-48-5111	火	12:30
	芦屋	天王寺谷貴 杉山 清和	659-0092	芦屋市大原町10-1 ホテル竹園芦屋2階202号 ashiyarc@sweet.ocn.ne.jp	0797-31-0729 0797-31-1316	〒659-0092 芦屋市大原町10-1 ホテル竹園芦屋	0797-31-2341 0797-23-2656	水	12:30
	甲子園	木嶋 一二 中川 尚美	663-8166	西宮市甲子園高潮町3-30 ホテルヒューイット甲子園内 office@koshien-rotary.com	0798-44-5360 0798-44-5361	同 左 ホテルヒューイット甲子園	0798-48-1111 0798-44-5361	水	12:30
	西宮川	中作 良成 中村 修己	663-8166	西宮市甲子園高潮町3-30 ホテルヒューイット甲子園内 shukurc@globe.ocn.ne.jp	0798-48-4900 0798-48-4811	同 左 ホテルヒューイット甲子園	0798-48-1111 0798-48-5111	金	12:30
	芦屋川	山内 祥弘 小柴 健二	659-0093	芦屋市船戸町4-1-311 ラポルテ本館3階 mail@ashiyagawa-rc.org	0797-22-0084 0797-22-0043	〒659-0092 芦屋市大原町10-1 ホテル竹園芦屋	0797-31-2341 0797-32-0777	月	12:30
	西宮恵美寿	伊藤八重子 伊賀 俊行	663-8166	西宮市甲子園高潮町3-30 ホテルヒューイット甲子園内 office@ebisu-rotary.com	0798-44-5360 0798-44-5361	同 左 ホテルヒューイット甲子園	0798-48-1111 0798-44-5361	木	12:30 第1水曜日 18:30
6 阪神第三	宝塚	安藤 幹根 仲内 悦治	665-0004	宝塚市梅野町1-46 宝塚ホテル420号室 takarazuka-rc@jeans.ocn.ne.jp	0797-87-1151 0797-84-4141	同 左 宝塚ホテル	0797-87-1151 0797-87-9833	月	12:30
	三田	松原 弘幸 脇田 昌和	669-1531	三田市天神1-5-33 三田市商工会館204 sanda-rc@piano.ocn.ne.jp	079-563-3666 079-563-3667	〒669-1321 三田市けやき台1-11-2 ザ・セレクトンプレミア神戸三田ホテル	079-564-1101 079-564-1107	火	12:30
	篠山	河合 岳雄 石井 祥平	669-2331	丹波篠山市二階町58 丹波篠山商工会館3階 sasayama@member.ri2680.org	079-552-5656 079-552-5685	同 左 丹波篠山商工会館3階	079-552-5656 079-552-5685	水	12:30
	柏原	足立 成人 荻野 泰男	669-3309	丹波市柏原町柏原12 みなと銀行柏原支店2階 info@kaibara-rc.org	0795-72-2684 0795-72-2684	同 左 みなと銀行柏原支店2階	0795-72-2684 0795-72-2684	金	13:00
	宝塚武庫川	西村 利秋 足立 英基	665-0003	宝塚市湯本町2-7 三東マンション103号 takarazuka-mukogawa@clear.ocn.ne.jp	0797-87-4343 0797-87-4343	〒665-0004 宝塚市梅野町1-46 宝塚ホテル	0797-87-1151 0797-87-9833	木	18:00
	三田南	下山隆一郎 荻野 恭三	669-1531	三田市天神1-5-33 三田市商工会館内 sanminami561-3560rc@onyx.dti.ne.jp	079-561-3560 079-561-3560	〒669-1525 三田市対中町5-21 ももたろう	079-564-5888 079-563-7330	木	18:30
6 8	宝塚中	川添 裕照 田村 久子	665-0845	宝塚市栄町1-17-8-2 tknaka@tknakarc.com	0797-83-1110 0797-83-1110	〒665-0004 宝塚市梅野町1-46 宝塚ホテル	0797-87-1151 0797-87-9833	水	19:00
	HYOGO ロータリー Eクラブ	長澤 友滋 児玉 貴春	665-0003	宝塚市湯本町2-7 三東マンション103号 rep@club.hyogo.jp	0797-87-4343 0797-87-4343			月	ネット上
	神戸	道満 雅彦 中内 仁	650-0046	神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル721号 office@koberotary.com	078-306-2525 078-302-2000	同 左 神戸ポートピアホテル	078-302-1111 078-302-6877	木	12:30
	神戸東	須藤 雄二 吉田 茂	650-0042	神戸市中央区波止場町2-1 ホテルオークラ神戸内 office@kobe-east-rc.org	078-333-1818 078-333-1515	同 左 ホテルオークラ神戸	078-333-0111 078-333-3577	火	12:30
	神戸東灘	池尾 浩之 児玉 健	658-0032	神戸市東灘区向洋町中2-13 神戸ベイシエラホテル&タワーズ4階 higashinadarc@seagreen.ocn.ne.jp	078-857-5518 078-857-5519	同 左 神戸ベイシエラホテル&タワーズ3階北野	078-857-7000 078-857-7041	月	12:30
	神戸南	須藤 道広 高取 宏行	650-0046	神戸市中央区港島中町6-10-1 神戸ポートピアホテル7階 eeminami@mbr.sphere.ne.jp	078-303-0878 078-303-0883	同 左 神戸ポートピアホテル	078-302-1111 078-302-6877	月	18:00
6 神戸第一	神戸六甲	関 通孝 山野 仁	650-0002	神戸市中央区北野町1-1 ANAクラウンプラザホテル神戸12階 rokko-rc@beach.ocn.ne.jp	078-291-1165 078-291-1164	同 左 ANAクラウンプラザホテル神戸9階	078-291-1121 078-291-1164	火	18:30
	神戸ハイ	西山 勝敏 岩瀬 哲正	658-0032	神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションマート4階 rep@kobebayrc.com	078-857-8606 078-857-8607	〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-13 神戸ベイシエラホテル&タワーズ3階	078-857-7000 078-857-7041	火	12:30
	神戸西	西川 嘉延 福元 隆久	651-0086	神戸市中央区磯上通8-1-1 テクケンビル6階 kobe_nishi_ri2680@pure.ocn.ne.jp	078-221-3360 078-221-3361	〒650-8560 神戸市中央区波止場町2-1 ホテルオークラ神戸	078-333-0111 078-333-3577	金	12:30
	神戸須磨	熊見 一郎 中右 剛彰	654-0021	神戸市須磨区平田町2-2-14 池尾ビル2階 sumarc@nifty.com	078-734-6600 078-734-6660	〒654-0068 神戸市須磨区西須磨字鉄坊7 須磨観光ハウス 味と宿 花月	078-731-3751 078-731-3753	水	12:30
	神戸垂水	星島 一夫 橋本 正弘	655-0012	神戸市垂水区向陽2-2-20 ボヌール向陽102 office@tarumi-rc.jp	078-708-1521 078-708-6066	〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町18-11 シーサイドホテル舞子ビラ神戸	078-706-3711 078-705-0749	木	18:30
	神戸西神	藤丸 信吾 田中 康之	651-2273	神戸市西区花台5-6-3 神戸西神オリエンタルホテル2階 info@kobeseishin.org	078-991-1000 078-991-1449	同 左 神戸西神オリエンタルホテル4階	078-992-8111 078-992-8106	木	12:30
6 神戸第二	神戸中	岩野 昭 松本 考史	651-0096	神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル7階B-2 info@kobena-rotary.com	078-265-6151 078-265-6152	〒650-0042 神戸市中央区波止場町2-1 ホテルオークラ神戸	078-333-0111 078-333-3577	火	18:30
	神戸モーニング	門脇 正英 村上 英樹	650-0012	神戸市中央区北長狭通3-2-3 ニューグランドビル5階 kmrc2680@gmail.com	078-392-0775 078-392-0776	ニューグランドビル2階 香港茶楼	078-392-0775 078-392-0776	木	7:00

	クラブ名	上段 下段	会長 幹事	〒	事 務 所 E-mail アドレス	上段 TEL 下段 FAX	例 会 場	上段 TEL 下段 FAX	例 会	
									曜日	時間
東 播 第 一 3	明 石	藤本 大野	隆水 博明	673-0892	明石市本町1-1-32 明石商工会議所3階 akashirc@pure.ne.jp	078-911-1122 078-911-1144	〒673-0891 明石市大明石町2-1-1 グリーンヒルホテル明石2階	078-912-2111 078-914-1974	水	12:30
	明石東	阪田 東	真也 誠	655-0047	神戸市垂水区東舞子町18-11 舞子ビラ神戸430号室 akashihigashi-rc@cap.ocn.ne.jp	078-708-7674 078-708-7675	同 左 舞子ビラ神戸	078-706-3711 078-706-2212	木	18:00
	明石北	吉川 岸本	悟 泰浩	673-0892	明石市本町1-1-32 明石商工会館3階 a-kitarc@pure.ne.jp	078-914-5934 078-911-1144	〒673-0016 明石市松の内2-2 ホテルキャッスルプラザ	078-927-1700 078-925-3999	火	12:30
東 播 第 二 5	高 砂	脇谷 堀	政孝 直樹	676-8558	高砂市高砂町北本町1104 高砂商工会議所内 takasago_rc@takasago-cci.or.jp	079-443-0500 079-442-0369	同 左 高砂商工会議所2階大会議室	079-443-0500 079-442-0369	金	12:30
	加古川	枝川 大辻	潤一 利紀	675-0064	加古川市加古川町溝之口800 加古川商工会議所会館5階 kakogawa@rotaryclub.ne.jp	079-423-0661 079-423-0677	同 左 加古川商工会議所会館4階大会議室	079-423-0661 079-423-0677	火	12:30
	加古川 中央	高山 羽原	昭則 正善	675-0064	加古川市加古川町溝之口800 加古川商工会議所会館5階 info@kakogawa-chuo-rotary.club	079-421-5152 079-421-5559	同 左 加古川商工会議所会館4階大会議室	079-421-5152 079-421-5559	木	12:30
	高砂 青松	佐野 櫻井	栄作 宣孝	676-8558	高砂市高砂町北本町1104 高砂商工会議所内 seisho_rc@takasago-cci.or.jp	079-443-0500 079-442-0369	同 左 高砂商工会議所2階大会議室	079-443-0500 079-442-0369	水	12:30
	加古川 平成	鈴木 榊	勝博 誠	675-0064	加古川市加古川町溝之口800 加古川商工会議所会館5階 heiseirc@basil.ocn.ne.jp	079-422-8000 079-422-8100	同 左 加古川プラザホテル1階ボールルーム	079-421-8877 079-421-6008	水	12:30
東 播 第 三 5	三 木	前田 堀田	静也 康郎	673-0431	三木市本町2-1-18 三木商工会館3階 info@miki-rc.jp	0794-82-8880 0794-82-0909	同 左 三木商工会館4階大会議室	0794-82-8880 0794-82-0909	金	12:30
	小野 加東	加納 田中	純一 隆夫	675-1378	小野市王子町800-1 小野商工会館3階 info@rotary.onocci.or.jp	0794-63-3545 0794-63-7572	同 左 小野商工会館4階大会議室	0794-63-3545 0794-63-7572	水	12:30
	北 条	田中 内藤	俊宏 正風	675-2312	加西市北条町北条28-1 アステアかさい1階 hojo-rc@yacht.ocn.ne.jp	0790-43-1666 0790-42-1940	〒675-2302 加西市北条町栗田12-2 JA兵庫みらい北条富田支店2階	0790-42-2733 0790-42-2734	火	12:30
	西 脇	永谷 来住	敏 雄亮	677-0015	西脇市西脇990 西脇商工会議所内 nishiwaki-rc@hesocci.or.jp	0795-22-3901 0795-22-8739	〒677-0015 西脇市西脇991 西脇ロイヤルホテル2階	0795-23-2000 0795-23-8604	月	12:30
	三木 みどり	池町 藤田	雄介 雅哉	673-0431	三木市本町2-1-18 三木商工会館3階 midori-rc@extra.ocn.ne.jp	0794-82-7333 0794-82-7444	同 左 三木商工会館4階大会議室	0794-82-7333 0794-82-7444	月	19:00
淡 路 5	洲 本	鶴飼 木戸	徹 清隆	656-0025	洲本市本町4丁目5番3号 洲本商工会議所会館4階403号室 sumotorc50@cup.ocn.ne.jp	0799-22-8915 0799-26-0101	〒656-0025 洲本市本町4-5-10 三井住友銀行洲本支店内3階	0799-22-8915 0799-26-0101	火	12:30
	南淡路	南岳 安部	利英 則行	656-0503	南あわじ市福良丙317 ホテル&リゾート 南淡路 minamiawaji-r.c@juno.ocn.ne.jp	0799-53-1889 0799-53-1889	同 左 ホテル&リゾート 南淡路	0799-53-1889 0799-53-1889	金	12:30
	淡路 三原	登里 日種	康生 顕夫	656-0462	南あわじ市市青木110-9 淡路信用金庫 市支店3階 awaji-mihara-rc@giga.ocn.ne.jp	0799-42-3299 0799-42-5005	同 左 淡路信用金庫 市支店3階	0799-42-3299 0799-42-5005	木	12:30
	津 名	尾田 柏木	丞 敏孝	656-2131	淡路市志筑3117-12 淡路信用金庫 志筑支店3階 rc27tuna@hyper.ocn.ne.jp	0799-62-2375 0799-62-2375	同 左 淡路信用金庫 志筑支店3階	0799-62-2375 0799-62-2375	水	12:30
	あわじ 中央	児玉 水上	和也 良夫	656-0131	南あわじ市広田中筋792-8 awajichuo-rc@zeus.eonet.ne.jp	0799-45-2345 0799-45-2345	〒656-0021 洲本市塩屋1丁目300-70 タイム・アフター・タイム内		水	19:00
西 播 第 一 6	姫 路	米谷 佐藤	啓和 光明	670-0932	姫路市下寺町43 姫路商工会議所新館2階 office@himeji-rc.org	079-222-7800 079-222-7802	同 左 姫路商工会議所新館5階501ホール	079-222-6001 079-222-7802	火	12:30
	姫路南	田路 成田	和男 哲朗	670-0962	姫路市南駅前町100 ホテル日航姫路601 info@himeji-minami-rc.com	079-224-8224 079-288-3941	同 左 ホテル日航姫路3階	079-222-2231 079-224-4144	月	12:30
	姫路西	備谷 三宅	信哉 敬哉	671-2222	姫路市青山1464 青山開発(株)内 himeji-west@tiara.ocn.ne.jp	079-266-5533 079-266-7066	〒671-2223 姫路市青山南4丁目7-29 ホテルサンシャイン青山2階	079-276-1181 079-277-4015	水	12:30
	姫路東	和田 松尾	正 健一郎	670-0932	姫路市下寺町43 姫路商工会議所新館3階 info@himeji-east-rc.com	079-288-6416 079-222-8256	同 左 姫路商工会議所本館702号室	079-222-6001 079-288-0047	月	18:00
	神 崎	中塚 久斗	昌利 讓二	679-2212	神崎郡福崎町福田116-1 福崎町商工会館3階 knzki-rc@jasmine.ocn.ne.jp	0790-22-2565 0790-22-7528	同 左 福崎町商工会館	0790-22-0558 0790-22-4354	木	12:30
	姫路 中央	山本 藤森	美比古 久嘉	670-0043	姫路市小姓町35-1 船場西ビル212号 chuo@memenet.or.jp	079-269-9373 079-269-9380	〒670-0932 姫路市下寺町43番地 姫路商工会議所B1階清交クラブロイヤルルーム	079-281-6800 079-224-2207	木	12:30
西 播 第 二 4	赤 穂	木虎 横山	知己 淳平	678-0239	赤穂市加里屋68-9 赤穂商工会館内 ako-rc@feel.ocn.ne.jp	0791-43-6388 0791-43-6667	同 左 赤穂商工会館4階大ホール	0791-43-2727 0791-45-2101	木	12:30
	相 生	大西 富田	恒祐 裕子	678-0031	相生市旭3-1-23 相生商工会議所内 aioi-rc@aioicci.jp	0791-23-0144 0791-22-2290	同 左 相生商工会議所3階大会議室	0791-22-1234 0791-22-2290	水	12:30
	龍 野	森崎 富田	嘉章 哲雅	679-4167	たつの市龍野町富永702-1 龍野商工会議所内 tatsuno-rc@tatsuno.or.jp	0791-63-4141 0791-63-4360	同 左 龍野経済交流センター1階	0791-63-4141 0791-63-4360	木	12:30
	上郡 佐用	小林 堤	健 好美	678-1233	赤穂郡上郡町大持278 上郡町商工会館内 kamigori@gold.ocn.ne.jp	0791-52-3710 0791-52-3833	同 左 上郡町商工会館内	0791-52-3710 0791-52-3833	金	12:30
但 馬 5	豊 岡	田中 濱上	洋 将巳	668-0031	豊岡市大手町6-16 toyookarc@gmail.com	0796-24-2800 0796-24-1360	〒668-0027 豊岡市若松町2-9 アールベルアンジェ豊岡	0796-26-2255 0796-29-1502	金	12:30
	生 野	木村 武藤	嘉宏 光政	679-3301	朝来市生野町口銀谷511 但陽信用金庫 生野本部2階 ikunorc@mx.ncansai.ne.jp	079-679-3425 079-679-3425	〒679-3301 朝来市生野町口銀谷535 但陽会館 東館	079-679-4375 079-679-4375	水	12:30
	香 住	藤原 吉岡	久嗣 力男	669-6544	美方郡香美町香住区香住104 kasumi-rc@bz03.plala.or.jp	0796-36-1283 0796-36-1283	同 左 香住建築総合センター内2階会議室	0796-36-1283 0796-36-1283	火	12:20
	豊岡 円山川	藤本 上田	鉄郎 倫久	668-0031	豊岡市大手町6-16 office@toyooka-maruyamagawa.ri2680.org	0796-24-2800 0796-24-1360	〒668-0027 豊岡市若松町2-9 アールベルアンジェ豊岡	0796-26-2255 0796-29-1502	火	12:30
	和田山	大林 齋藤	賢一 祥見	669-5231	朝来市和田山町林垣911ル・バルク内 wdym.1941@lilac.ocn.ne.jp	079-672-5435 079-672-5435	同 左 但馬重機(株)研修所ル・バルク内	079-672-5435 079-672-5435	木	12:30

ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2680



ガバナー
浅木 幸雄

(神戸)



地区研修リーダー
滝澤 功治

(神戸須磨)



代表幹事
村尾憲一郎

(神戸)

2019-20年度RIテーマ



尼崎グループ



ガバナー補佐

神谷 誠治

(尼崎中)

浅木年度の尼崎Gのガバナー補佐を務めさせていただくことになりました。16-17年度地区代表幹事の経験を活かし、ガバナーの運営方針を理解し、地区と尼崎6クラブとのパイプ役を務め、奉仕の理想を志したいと思います。皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

尼 崎



会 長

藤井一成



幹 事

大村竜一

尼 崎 北



会 長

下境田耕治



幹 事

野上英則

尼 崎 東



会 長

森本吉昭



幹 事

三田恭男

尼 崎 西



会 長

清川浩志



幹 事

吉岡秀之

尼 崎 南



会 長

黒田佳治



幹 事

徐 幸一

尼 崎 中



会 長

平井裕子



幹 事

二神敏行

阪神第1グループ



ガバナー補佐

下岡 節三

(川西猪名川)

浅木ガバナーの補佐をさせていただくことになりました。ガバナーの行動指針をできる限り具体化し、実施できるよう努めさせていただきます。グループ内の各クラブリーダーと連携をはかり、ロータリークラブの活性化に努めたいと思います。各クラブリーダーのご協力をお願いし、私自身意義ある一年にしたいと思います。

阪神第2グループ



ガバナー補佐

中村 昌良

(芦屋川)

阪神第2グループ6クラブとの連携を密にし、浅木ガバナーの地区運営方針を支援することにより、各クラブの活性化のため、全力を尽くす所存です。どうぞ宜しくご協力ご支援お願い申し上げます。

伊 丹



会 長
田中久雄



幹 事
村上 功

川 西



会 長
三宅圭一



幹 事
鴨井公司

西 宮



会 長
早瀬利典



幹 事
遠藤 剛

芦 屋



会 長
天王寺谷貴



幹 事
杉山清和

伊丹有明



会 長
辻野信博



幹 事
岩崎健二

川西猪名川



会 長
吉岡康裕



幹 事
中原佳子

甲子園



会 長
木嶋一二



幹 事
中川尚美

西宮夙川



会 長
中作良成



幹 事
中村修己

伊丹昆陽池



会 長
前田治男



幹 事
藤本耕二

西宮イブニング



会 長
梅原可奈子



幹 事
松嶋洋子

芦屋川



会 長
山内祥弘



幹 事
小柴健二

西宮恵美寿



会 長
伊藤八重子



幹 事
伊賀俊行

阪神第3グループ



ガバナー補佐

安行 英文

(三 田)

阪神第3グループ各クラブの魅力ある例会や事業、クラブのロータリーに対する思いなどを伺い知ることで、ロータリーの魅力を見つけ、RIや地区、他クラブとのつながりを強め、より一層のクラブ発展と活性化に寄与できるよう心がけたいと考えています。どうぞ浅学非才ではありますが、よろしくお願いたします。

神戸第1グループ



ガバナー補佐

井堂 信純

(神 戸)

浅木ガバナーの強い思いをグループ内の各クラブの皆さんに的確にお伝えすることが私の第一の使命であると心得ておりますので、各クラブを訪問した際には気軽に声をかけてください。たかがロータリーされどロータリーという言葉があります。ロータリーをよく理解した上でロータリーと一緒に楽しみましょう。

宝 塚



会 長
安藤幹根



幹 事
仲内悦治

三 田



会 長
松原弘幸



幹 事
脇田昌和

神 戸



会 長
道満雅彦



幹 事
中内 仁

神 戸 東



会 長
須藤雄二



幹 事
吉田 茂

篠 山



会 長
河合岳雄



幹 事
石井祥平

柏 原



会 長
足立成人



幹 事
荻野泰男

神 戸 東 灘



会 長
池尾浩之



幹 事
児玉 健

神 戸 南



会 長
須浪道広



幹 事
高取宏行

宝塚武庫川



会 長
西村利秋



幹 事
足立英基

三 田 南



会 長
下山隆一郎



幹 事
荻野恭三

神 戸 六 甲



会 長
関 通孝



幹 事
山野 仁

神 戸 ベイ



会 長
西山勝敏



幹 事
岩瀬哲正

宝 塚 中



会 長
川添裕照



幹 事
田村久子

HYOGOロータリークラブ



会 長
長澤友滋



幹 事
児玉貴春

神戸第2グループ



ガバナー補佐

奥田 祐司

(神戸中)

浅木ガバナーの行動指針である『地域社会をつなぎ(Connect)、多様性に富んだ会員組織へ変革する(Transform)』を理解・実践しグループ内各クラブが共に発展出来るように、種々の方策を講じると共に、実現出来るように最大限の努力をします。

神戸西



会長

西川嘉延



幹事

福元隆久

神戸須磨



会長

熊見一郎



幹事

中右剛彰

神戸垂水



会長

星島一夫



幹事

橋本正弘

神戸西神



会長

藤丸信吾



幹事

田中康之

神戸中



会長

岩野 昭



幹事

松本考史

神戸モーニング



会長

門脇正英



幹事

村上英樹

東播第1グループ



ガバナー補佐

尾上 潤二

(明石北)

浅木ガバナーは本年度、地区の課題として「会員数の減少の改善」「地区組織(特に委員会)の活動の効率化」をあげております。地区の一員としてクラブと地区のパイプ役としてこの1年健康で何かしら皆様のお役に立てたらと思っております。ロータリアンとしてガバナーを補佐いたしますので皆様ご協力の程お願いいたします。

明石



会長

藤本隆水



幹事

大野博明



会長

阪田真也



幹事

東 誠

明石北



会長

吉川 悟



幹事

岸本泰浩

東播第2グループ



ガバナー補佐

新井 哲三

(高砂)

浅木ガバナーの行動方針の下、東播第2グループ5クラブの連携を密にし、Connects (RI) and Join us Togetherで行きたいと思えます。また、会員増強もさることながら、減少の理由、歯止め対策も一緒に考えましょう。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

東播第3グループ



ガバナー補佐

伊藤 英樹

(三木)

浅木ガバナー年度は、各クラブの会長・幹事をはじめとしてロータリアンが一名でも多くの知り合いを増やすことに努力します。RI会長方針の「世界をつなぐ」ためには、まずグループ内の交流を図り、メンバー各位が「今年度は友人が増えて良かったな」と言える年にして、東播第3グループ初のガバナー輩出年度である次年度に備えたいと思えます。よろしくお願ひします。

高砂



会長
脇谷政孝



幹事
堀直樹

加古川



会長
枝川潤一



幹事
大辻利紀

三木



会長
前田静也



幹事
堀田康郎

小野加東



会長
加納純一



幹事
田中隆夫

加古川中央



会長
高山昭則



幹事
羽原正善

高砂青松



会長
佐野栄作



幹事
櫻井宣孝

北条



会長
田中俊宏



幹事
内藤正風

西脇



会長
永谷 敏



幹事
来住周亮

加古川平成



会長
鈴木勝博



幹事
榊 誠

三木みどり



会長
池町雄介



幹事
藤田雅哉

淡路グループ



ガバナー補佐

川端 英雄

(津 名)

多様化する社会、変化の早い時代の中で、活力あるクラブづくりを目指すため、浅木ガバナーの方針・施策を良く理解し、各クラブと連携を密にし、ロータリーの活動が元気で効果的なクラブ運営をサポートできるよう努力したいと考えています。皆様のご指導を心からお願い申し上げます。

洲 本



会 長

鷲飼 徹



幹 事

木戸清隆

南 淡 路



会 長

南岳利英



幹 事

安部則行

淡 路 三 原



会 長

登里康生



幹 事

日種顯夫

津 名



会 長

尾田 丞



幹 事

柏木敏孝

あわじ中央



会 長

児玉和也



幹 事

水上良夫

西播第1グループ



ガバナー補佐

増 田 泰 之

(姫路東)

浅木ガバナーの行動指針をよく理解し、地区チームの一員であることを自覚して、西播第1グループの各クラブ間の連絡を密にするとともに、楽しい運営ができるように努めたいと考えています。特に、会長・幹事会のグループ内持ち廻りの日程も決まり、お互いのクラブの情報交換、親睦の輪を深めたいと考えています。よろしく願いいたします。

姫 路



会 長

米谷啓和



幹 事

佐藤光明

姫 路 南



会 長

田路和男



幹 事

成田哲朗

姫 路 西



会 長

備谷信哉



幹 事

三宅 敬

姫 路 東



会 長

和田 正



幹 事

松尾健一郎

神 崎



会 長

中塚昌利



幹 事

久斗讓二

姫 路 中 央



会 長

山本美比古



幹 事

藤森久嘉

西播第2グループ



ガバナー補佐

大西 賢一

(相生)

この度ガバナー補佐という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。本年、浅木ガバナーの方針をもとに地区と西播第2グループのパイプ役を務めさせていただきます。そして、4クラブのお役に立てるように頑張ります。皆様にはご指導・ご協力を、よろしくお願いいたします。

赤 穂



会長
木虎知己



幹事
横山淳平

相 生



会長
大西恒祐



幹事
富田裕子

龍 野



会長
森崎嘉章



幹事
富田哲雅

上郡佐用



会長
小林 健



幹事
堤 好美

但馬グループ



ガバナー補佐

若宮 正仁

(豊岡円山川)

ロータリーの出会いによって生まれる友情、友情のつながりで地域に、社会に奉仕する、そんな生かされているいのちの友と、力を合わせて会員増強を推し進める1年で在りたいと願いながら、但馬グループには極めて困難な課題ですが、奉仕と親睦を中心に努力したいと思っています。

豊 岡



会長
田中 洋



幹事
濱上将巳

生 野



会長
木村嘉宏



幹事
武藤光政

香 住



会長
藤原久嗣



幹事
吉岡力男

豊岡円山川



会長
藤本鉄郎



幹事
上田倫久

和 田 山



会長
大林賢一



幹事
齊藤祥見

ガバナー指名委員会

委員長



滝澤 功治
(神戸須磨)

危機管理委員会

委員長



黒田 建一
(西宮イブニング)

副委員長



田中 賢一
(伊丹)

研修委員会

委員長



滝澤 功治
(神戸須磨)

副委員長



中村 尚義
(洲本)

地区運営会議

委員長



浅木 幸雄
(神戸)

奉仕プロジェクト特別会計委員会

職業奉仕・
職業倫理小委員長



大内 晋二
(神戸須磨)

RLI小委員長



中村 尚義
(洲本)

地区財務委員会

委員長



上谷 佳宏
(神戸)

規定審議委員会

委員長



工藤 涼二
(神戸西神)

副委員長



富田 博重
(柏原)

監査委員会

委員長



光斎 信治
(神戸須磨)

戦略計画委員会

委員長



矢野 宗司
(加古川中央)

副委員長



丸尾 研一
(神戸西神)

クラブ管理運営
委員会

会員増強委員会

公共イメージ
委員会

委員長



城 守
(姫路)



武田寿子
(神戸西)



濱 浩一
(神戸)

副委員長



大西淳滋郎
(加古川中央)



梅原可奈子
(西宮イブニング)



宇尾好博
(神戸中)



池信秀明
(伊丹)

小委員長

社会奉仕委員会

国際奉仕委員会

委員長



矢野宗司
(加古川中央)



山本正二
(西宮夙川)

副委員長



藤井恵一
(篠山)



坂東隆弘
(柏原)



圓尾美佳
(龍野)

小委員長

社会奉仕



瀬戸 徹
(西宮)

RYLA



田中賢一
(伊丹)

国際奉仕



山本正二
(西宮夙川)

青少年交換



白井務子
(姫路東)

インターアクト



中本広太郎
(神戸)

ローターアクト



奥田 裕
(神戸モーニング)

学 友



永松潔和
(神戸)

学 友

ロータリー財団委員会

米山記念奨学委員会

委員長



石丸鐵太郎
(神戸南)



秦紳一郎
(洲本)

副委員長



佐茂省治
(尼崎中)



本條 昇
(龍野)



武本正照
(尼崎北)



三宅康雄
(芦屋)

小委員長

補助金



佐茂省治
(尼崎中)

資金推進



山口 宰
(神戸西)

奨学金・平和フェローシップ



山本正二
(西宮夙川)

財団資金管理



飯田健一
(神戸南)

ポリオプラス



喜多美雄
(加古川中央)

学友

◆地区Web管理システムへの入力お願い

①クラブ行事について

クラブの記念事業や周年行事など主なクラブ行事は、システム内の「クラブ管理」にご入力ください。

②緊急連絡について

ガバナー事務所からの緊急連絡に対応できる態勢を整えていただくため、システム内「クラブ管理」ページの会長・幹事の情報は、もれなくご入力ください。特に携帯番号の入力は必須とさせていただきます。

③セミナーの登録

パストガバナー、ガバナー補佐、地区委員会関係者を含むクラブ内の全会員の参加登録をお願いいたします。また登録料も同様に、まとめて送金いただきますようお願いいたします。

◆ガバナー月信

ガバナー月信は、地区内のクラブ会長・幹事あてに、ガバナーの見解並びに国際ロータリーの各種情報をお伝えするために毎月発行する公式書簡です。月信の発行はガバナーの最も重要な任務のひとつです。本年度もさまざまなロータリー情報を提供いたします。

①原稿の文字数、締切日

原稿、写真は、可能な限りデータにてお送りください。字数制限には、ご配慮をお願いいたします。原則として、**翌月の月信原稿の締切は、毎月10日となっております。**地区委員会報告、クラブ行事等はホームページに掲載させていただきますので、ガバナー事務所までお問い合わせください。会員数・出席率報告につきましては、翌月15日までにオンラインフォームへの入力をお願いいたします。

②新会員、ご寄付、訃報

新会員、ロータリー財団・米山記念奨学会に寄付をされた各種認証者の方、訃報を月信に掲載いたします。所定の書式にご記入の上、写真を添えてガバナー事務所までご送付ください。写真は、可能な限りデータでご送付いただきますようご協力をお願いいたします。

◆質疑応答について

クラブ運営やその他のお問い合わせは、特に緊急の場合を除き、すべてEメール、又は書面（FAXか郵便）でお願いいたします。

◆その他

RI関係・地区への送金および各種報告-方法につきましては、10ページをご覧ください。
HPアドレス：<http://dist.ri2680.org/>

7月の地区活動予定

日	時	行 事 名	場 所
7月 2日(火)	16:00~17:30	第2回戦略計画委員会	ガバナー事務所 724号会議室
4日(木)	17:00~18:00	第1回社会奉仕小委員会	神戸ポートピアホテル 本館4F パール
7日(日)	13:00~18:00	米山記念奨学セミナー	神戸学院大学PIC レストランジョリポー
10日(水)	14:30~16:50	補助金管理説明会	神戸ポートピアホテル 南館B1F サファイア
13日(土)	13:30~14:30	第1回国際奉仕小委員会	ガバナー事務所 724号会議室
	15:00~16:30	第1回学友小委員会	ガバナー事務所 724号会議室
14日(日)	13:00~16:00	ローターアクト『2019-2020年度地区交流会』	芦屋市民センター 本館404号室
18日(木)	19:30~21:30	第1回奉仕プロジェクト特別会計委員会	神戸ポートピアホテル 本館4F パール
24日(水)	16:00~17:30	第3回戦略計画委員会	ガバナー事務所 724号会議室
27日(土)	16:00~17:30	第2回クラブ管理運営委員会	ガバナー事務所 724号会議室

Rotary
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2019年7月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

2019年7月から、第1地域ロータリーコーディネーターを拝することになりました菅原裕典です。

まずはコーディネーター補佐の3名をご紹介します。

浅水尚伸様 (国際ロータリー第2770地区2016-17年度ガバナー)

田中久夫様 (国際ロータリー第2840地区2017-18年度ガバナー)

佐々木千佳子様 (国際ロータリー第2830地区2017-18年度ガバナー)

それぞれの地区またはIMで開催するセミナーなどの予定があれば、戦略計画・会員増強・元気なクラブづくり等々、幅広いテーマでの講師として馳せ参じる所存です。是非とも、お声がけ下さい。第1ゾーンは14地区ありますので、RC・ARCが手分けをしてお伺いいたします。地区の情報や各地区で活躍されているロータリアン・実績のあるクラブ紹介などを我々ロータリーコーディネーターがどんどん発信して参りますので、この4名を皆さまが最大限にご活用頂ければ幸いです。

先日、あるクラブの例会で体験した事をご紹介します。そのクラブの会員数は60名弱で、クラブ例会(夜例会)が終了した後、新入会員の歓迎会が開催されておりました。任意の21名が参加されていて、新入会員の年齢は30歳と若い方でしたが、歓迎会に参加していた方の年齢は私より1歳年上の60歳の年長者の方でした。ロータリーは年を重ねた方が多いと言われていますが、私がこの時感じたことは、世代ごとの会員増強にしっかりと取り組んでいるという光景でした。

手放して素晴らしいと言いたいところですが、実はこれが当たり前のことでもあります。ロータリーは年齢のことだけではなく、女性会員が少ない、会員増強が難しいなど、とかくイメージが先行しがちですが、純粹に入会させたい人物がいれば年齢や性別でなく、入会いただくまであきらめない積極的な取り組みが必要と感じました。できない理由を述べるのではなく、できる理由を皆さんで考えましょう。それこそがロータリーではありませんか。

最後にRCの役割として、各クラブのMy ROTARYへの登録を100%とすることを目標とし、それをサポートして参ります。これからのロータリーには、ICTの活用やネットワークの広がりが必要不可欠です。My ROTARYは世界のロータリーの情報をリアルタイムで確認することができる唯一無二の優れたツールです。是非、My ROTARYへ登録をお願い致します。

第1地域ロータリーコーディネーター 菅原 裕典

■ 公共イメージ、広報と増強にもターゲット的な視点を

ロータリーの認知度を深め、公共イメージを向上させ、会員増強につなげようと各地区、クラブ、個々のロータリアンが努力しています。しかしながら、なかなか増強に結びついていないのが現状です。特に若年層の勧誘に苦しんでいるクラブが多いのではないのでしょうか？

私の所属するクラブも同様です。若年層の入会対象者を勧誘しても、年会費が高い、昼の例会には仕事で出られない、例会が毎週では無理だ等々の理由で断られます。そこで2013年規定審議会で採択された「衛星クラブ」を設立しました。例会場、年会費、例会日、時間等親クラブと異なっても構わない。衛星クラブの会員は、親クラブの会員でもあるロータリアンである。設立時に8名の会員を要するが、人数に上限はない。会員の在籍年数に年限はない。

そこで年会費は親クラブの1/3、例会は昼、月2回例会の衛星クラブが9名で設立され、その後11名となり、77名の親クラブは88名のクラブとなりました。増えた2名は、我々が勧誘しても首を縦に振らなかった対象者が、衛星クラブ会員となったメンバーが誘うと、いとも簡単に入会しました。我々の勧誘は、いかに正確に、平易にロータリーを説明しても、彼らにはハードルの高いものと映ったそうです。

昨年北海道は胆振東部地震のため、全道がブラックアウト、停電の被害を受けました。その為クラブ事業として、市内全中学に発電機を寄贈しました。30歳代の彼らはPTA役員をしています。その彼らが寄贈時各校で、教職員を含めたPTAの皆さんにこのような行動をするロータリーを説明しました。我々が説明するよりも身近にロータリーを認識してもらえたようです。

入会対象者に最適な勧誘者、広報対象者にふさわしい説明者。広告にマス広告とターゲット広告があるように、公共イメージ、広報にも、また増強にもマスとターゲットが必要ではないのでしょうか？ 対象に沿ったアプローチの仕方を、知恵を絞りながら模索する、そのような時代にいると思います。

第1地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 嵯峨 義輝

RI理事会

RI理事

三木 明 (姫路)

第3ゾーン	ロータリーコーディネーター補佐
審議会	代表議員
滝澤 功治	神戸須磨

第3ゾーン	恒久基金/大口寄付アドバイザー (E/MGA)
大室 儼	宝塚武庫川

水と衛生のための大口寄付推進計画委員会委員 (WAS・MGI)	
丸尾 研一	神戸西神

ガバナー指名委員会

委員長	滝澤 功治	神戸須磨
委員	丸尾 研一	神戸西神
	室津 義定	尼崎 中
	瀧川 好庸	神戸西
	矢野 宗司	加古川中央

ガバナー諮問委員会

バストガバナー	神木 董	加古川
	空地 啓一	姫路
	松岡 通夫	神戸
	田中 毅	尼崎 西
	中嶋 邦明	甲子園
	赤木 文生	神戸東
	安平 和彦	姫路
	橋本 一豊	神戸須磨
	石井 良昌	尼崎 西
	加藤 隆久	神戸
	三木 明	姫路
	宮本 一	芦屋
	中村 尚義	洲本
	柴田 整宏	西宮夙川
	久野 薫	神戸東
	石丸鐵太郎	神戸南
	大室 儼	宝塚武庫川
	滝澤 功治	神戸須磨
	丸尾 研一	神戸西神
	室津 義定	尼崎 中
瀧川 好庸	神戸西	
矢野 宗司	加古川中央	
ガバナーエレクト	高瀬 英夫	西脇
ガバナーミニ	吉岡 博忠	伊丹

地区運営会議

委員長	浅木 幸雄	神戸
委員	矢野 宗司	加古川中央
	多木 有一	神戸
	村尾憲一郎	西脇
	高瀬 英夫	西脇
	前川 秀一	伊丹
	吉岡 博忠	
	白井 良夫	

常務理事	滝澤 功治	神戸須磨
評議員	柴田 整宏	西宮夙川

ロータリーの友委員会

特別顧問	安平 和彦	姫路
委員	三木 明	神戸
地区代表委員	中野 正徳	神戸

地区研修リーダー

滝澤 功治 (神戸須磨)

ガバナーエレクト

高瀬 英夫 (西脇)

次期地区研修リーダー

研修委員会

委員長	滝澤 功治	神戸須磨
副委員長	中村 尚義	洲本

職業奉仕・職業倫理小委員会

小委員長	大内 晋二	神戸須磨
委員	武本 正照	尼崎 北
	田中 賢一	伊丹
	吉住 俊一	柏原
	矢納 利夫	西脇
	興津 博捷	淡路三原
	本條 昇	龍野
	遠藤玄一郎	豊岡

RI小委員会

小委員長	中村 尚義	洲本
委員	勇 正一郎	尼崎 東
	池信 秀明	伊丹
	安行 英文	三田
	矢坂 誠徳	神戸西
	渡會 英明	西脇
	宮本 圭介	淡路三原
	橋本 雅彦	姫路東

規定審議委員会

委員長	工藤 涼二	神戸西神
副委員長	富田 博重	柏原
委員	田中 正喜	尼崎 東
	林 晃史	神戸
	滝澤 功治	神戸須磨
	大内 晋二	神戸中
	宇尾 好博	神戸モーニング
	山本 博一	明石
	岩永 一哉	高砂青松
	青木 裕加	加古川平成
	林 知宏	西脇
	藤井 雅浩	洲本
	中村 尚義	姫路
	三木 明	

ガバナー

浅木 幸雄 (神戸)

戦略計画委員会

委員長	矢野 宗司	加古川中央
副委員長	丸尾 研一	神戸西神
委員	阪上 栄樹	宝塚中
	天羽 公夫	甲子園
	矢坂 誠徳	神戸西
	好崎 泰州	加古川平成
	小西 龍機	小野加東
	井村 正身	西脇

危機管理委員会

委員長	黒田 建一	西宮イブニング
副委員長	田中 賢一	伊丹
委員	高瀬 英夫	西脇
	吉岡 博忠	伊丹
	矢野 宗司	加古川中央
	白井 務子	姫路東
	奥田 裕	神戸モーニング
	中本広太郎	神戸
	永松 潔和	神戸南
	石丸鐵太郎	神戸南
	秦 紳一郎	洲本
	濱 浩一	神戸
	藤本 武彦	西脇
	安平 和彦	姫路
	滝澤 功治	神戸須磨
外部委員	2名	

地区研修・協議会実行委員会

実行委員長	植村 武雄	神戸
幹事	寺本 督	
副幹事	二宮 秀樹	
ホストクラブ会長	佐井 裕正	

日本のロータリー創立100周年支援委員会

委員長	浅木 幸雄	神戸
副委員長	高瀬 英夫	西脇

ガバナー補佐

尼崎	神谷 誠治	尼崎 中
阪神第1	下岡 節三	川西猪名川
阪神第2	中村 昌良	芦屋 川
阪神第3	安行 英文	三田
神戸第1	井堂 信純	神戸
神戸第2	奥田 祐司	神戸中
東播第1	尾上 潤二	明石 北
東播第2	新井 哲三	高砂
東播第3	伊藤 英樹	三木
淡路	川端 英雄	津名
西播第1	増田 泰之	姫路東
西播第2	大西 賢一	相生
但馬	若宮 正仁	豊岡円山川

地区財務委員会

委員長	上谷 佳宏	神戸
委員	飯田 健一	神戸南
	藤田 裕三	西脇

奉仕プロジェクト特別会計委員会

委員長	浅木 幸雄	神戸
委員	規定に定められた構成員	
監査役		

監査委員会

委員長	光斎 信治	神戸須磨
委員	室津 義定	尼崎 中
	瀧川 好庸	神戸西

クラブ

地区大会実行委員会

実行委員長	井植 貞雄	神戸
副実行委員長	小野 純夫	
幹事	寺本 督	
副幹事	二宮 秀樹	
大会会計		
S A A		
ホストクラブ会長	道満 雅彦	

国際大会推進委員会

委員長	佐井 裕正	神戸
副委員長	富永 彰良	

地区幹事(神戸)

代表幹事	村尾憲一郎		
副代表幹事	今津 由雄		
	土橋 達生		
総務	寺本 督		
	(副代表幹事)	山邑太左衛門	
	幹事	(土橋 達生)	
	副幹事	森本 泰暢	
		池原 伸直	
		三木谷研一	
		塩田 善朗	
		和田 剛直	
		山本 俊一	
		森本 真弥	
松井 晶			
土井 正孝			
松岡 辰弥			
財務	会計長	松岡 泰生	
	副会計長	藤井 英映	
月信	副幹事	後藤 武	
		垣田 宗彦	
		中林 淳	
		中根 義信	
公式訪問	副幹事	(副代表幹事)	今津 由雄
		幹事	小曾根佳生
		副幹事	浅木 幸三
			中本広太郎
大会・研修会	副幹事	(副代表幹事)	角南 忠昭
		幹事	(寺本 督)
		副幹事	二宮 秀樹
			原 恭平
			今井 俊介
			木下 勝文
			木下 和彦
			木下 学
			奈良山貴士
			奥井 秀樹
東中 弘丞			
小泉 康史			
清水 規裕			
石坪 浩一			
井上 真二			

委員会	副幹事	(副代表幹事)	横山 政夫
		幹事	福井 要
		副幹事	日笠 秀樹
			井植 啓悟
			河野 忠友
			川崎 厚志
			木村 卓哉
			幸寺 覚
			松田 幸治
			中院 達也
永吉 一郎			
吉井 満隆			

地区委員会						
クラブ管理運営	会員増強	公共イメージ	社会奉仕	国際奉仕	ロータリー財団	米山記念奨学
			社会奉仕 インターアクト ローターアクト RYLA	国際奉仕 青少年交換	補助金 財団資金管理 資金推進 ポリオプラス 奨学金・平和フェローシップ	
			学友			
			奉仕プロジェクト			

※順不同 敬称略



ロータリーは
世界をつなぐ

国際ロータリー第2680地区

2019年 地区研修・協議会



日 時：2019年5月11日（土） 10：30～16：30
場 所：神戸ポートピアホテル・ポートピアホール

全体会議司会：寺本 督（神戸）・二宮 秀樹（神戸）

9：30	登録受付		
10：30	開会点鐘	ガバナーエレクト	浅木 幸雄 （神戸）
	「君が代」「奉仕の理想」斉唱	ソングリーダー	平野 誠人 （神戸）
	開会のことば	実行委員長	植村 武雄 （神戸）
	RI役員・地区役員紹介		
	挨拶	RI 理事	三木 明 （姫路）
	挨拶	ガバナー	矢野 宗司 （加古川中央）
	RI会長テーマと地区運営方針	ガバナーエレクト	浅木 幸雄 （神戸）
	次期地区リーダー紹介		
	地区研修・協議会によせて	次期地区研修リーダー	滝澤 功治 （神戸須磨）
12：00	昼食・休憩（大輪田の間）		
13：00	基調講演「奉仕の心を学び、伝え、実践しよう～ロータリーの変遷と本質～」		
		2019年RI研修リーダー	山崎 淳一 （青森県2830地区・五所川原RC）
	講演「クラブ活動の対外広報とIT化」	第3ゾーンロータリー公共イメージ コーディネーター	横山 守雄 （大阪府2660地区・大阪中央RC）
	講演「ロータリー財団の有効活用」	第3ゾーンロータリー財団地域 コーディネーター	田村 泰三 （広島県・山口県2710地区・柳井RC）
	所感	ガバナー	矢野 宗司 （加古川中央）
	閉会挨拶	ガバナーノミネー	高瀬 英夫 （西脇）
	閉会点鐘	ガバナーエレクト	浅木 幸雄 （神戸）
14：40	移動・休憩		
15：00	部門別分科会		
16：30	部門別分科会終了・閉会		



RI会長エレクト
マーク・ダニエル・マローニー

ガバナーエレクト
浅木 幸雄



部 門	会 場	カウンセラー	リーダー	副リーダー		SAA (神戸) 副SAA
会 長	本館地下1階 偕楽③	滝澤 功治 (神戸須磨)	浅木 幸雄 (神戸)	高瀬 英夫 (西脇)	黒田 建一 (西宮イブニング)	今津 由雄 塩田 善朗
幹 事	本館地下1階 和楽②	中村 尚義 (洲本)	村尾憲一郎 (神戸)	多木 有一 (加古川中央)	工藤 涼二 (神戸西神)	土橋 達生 山本 俊一
				前川 秀一 (西脇)		
クラブ管理運営	本館地下1階 布引・北野		城 守 (姫路)	大西淳滋郎 (加古川中央)	富田 博重 (柏原)	横山 政夫 小曽根佳生
会員増強	本館地下1階 偕楽②	丸尾 研一 (神戸西神)	武田 寿子 (神戸西)	梅原可奈子 (西宮イブニング)	本條 昇 (龍野)	山邑太左衛門 今井 俊介
				宇尾 好博 (神戸中)		
職業奉仕	本館地下1階 偕楽①	安平 和彦 (姫路)	大内 晋二 (神戸須磨)	池信 秀明 (伊丹)		原 恭平 松岡 辰弥
社会奉仕	南館地下1階 サファイヤ	矢野 宗司 (加古川中央)	藤井 恵一 (篠山)	瀬戸 徹 (西宮)	山口 幸 (神戸西)	河野 忠友 三木谷研一
				濱 浩一 (神戸)		
国際奉仕	南館地下1階 エメラルド		山本 正二 (西宮夙川)	圓尾 美佳 (龍野)	永松 潔和 (神戸)	東中 弘丞 清水 規裕
青少年奉仕	南館地下1階 トパーズ		坂東 隆弘 (柏原)	中本広太郎 (神戸)	白井 務子 (姫路東)	和田 剛直 木下 勝文
				田中 賢一 (伊丹)	上谷 佳宏 (神戸)	
				奥田 裕 (神戸モーニング)	光斎 信治 (神戸須磨)	
ロータリー財団	本館地下1階 生田		石丸鐵太郎 (神戸南)	佐茂 省治 (尼崎中)	飯田 健一 (神戸南)	木下 和彦 井植 啓悟
				喜多 美雄 (加古川中央)		
米山記念奨学	南館地下1階 ダイヤモンド		秦 紳一郎 (洲本)	武本 正照 (尼崎北)	三宅 康雄 (芦屋)	奈良山貴士 松井 晶

開会の言葉

実行委員長 植村 武雄(神戸)

おはようございます。地区
研修・協議会実行委員長、神
戸RCの植村です。

新天皇ご即位の慶祝ムード
醒めやらぬ中、早朝より研
修・協議会にご参集いただき
ありがとうございます。

新元号令和の時代となって最初のロータリー年度
となります2019-20年度、浅木ガバナー年度のスタ
ートまで2カ月足らず、新年度の活動方針等の情
報や認識を共有する重要な場です。単に地区方針の
伝達を受けるだけでなくクラブ自治の精神で主体的
にご検討され、令和の新時代にふさわしいコンセプ
トを持って、個性的なクラブ運営方針を確立してい



ただきたいと思います。

新元号令和について、総理の会見では「人々が美
しく心を寄せ合う」とその思いを述べられ、また、外
務本省は在外公館に向けて“Beautiful Harmony”
という英訳を発信しました。「美しい調和」という
のは、外見ではなく内面の美しさを意味するもの
で、多様な文化や価値観を差別なく包摂し尊重し合
う共生、共助、ダイバーシティ社会に醸し出される
ものと思います。次年度RI会長のテーマであり、浅
木ガバナーエレクトの提唱でもあります「つなぐ」
の精神に通ずるものです。

それでは只今から2019年（令和元年）の2680地区
研修・協議会を開会します。



挨拶

2018-20年度RI理事 三木 明(姫路)



浅木幸雄ガバナーエレクト年度、2019-2020年度が間もなく始まります。

名門神戸ロータリークラブがサポートされ、浅木ガバナーエレクトが次年度の方針を語り、皆様と共に前進するために情報を得、共有するための大切な会議です。

この会議が成功裏に終わるかどうかは本日ご出席のクラブリーダーの皆さまにかかっています。浅木エレクトがお考えになるロータリーの今後をしっかりと受け止めて頂きたく思います。

この会議が成功裏に終わるかどうかは本日ご出席のクラブリーダーの皆さまにかかっています。浅木エレクトがお考えになるロータリーの今後をしっかりと受け止めて頂きたく思います。

バリー・ラシンRI会長年度が無事に成功裏に終わろうとしています。いよいよマーク・ダニエル・マローニー会長の年度の幕開けです。マローニー会長は、こう述べておられます。「ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いてまいりましょう。ロータリーでの経験の中核にあるのは『つながり』です。ロータリーで私たちは、お互いの違いを超え、深く、意義あるかたちでお互いにつながることができます。ロータリーは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、職業上の機会、私たちの支援を必要とする人たちとのつながりをもたらしてくれます」。このメッセージを全世界のロータリアンに発信され、『ロータリーは世界をつなぐ』と会長テーマを掲げられました。

この1年間、マローニーRI会長、浅木ガバナーと共に『ロータリーは世界をつなぐ』を胸にロータリー活動に邁進しましょう。

マローニー会長ご夫妻は、この8月には、約10日間の日程で東日本を中心にロータリークラブを訪問されます。多くの日本人ロータリアンとお会いになり日本のロータリーの素晴らしさを満喫して下さることでしょう。また、台湾のゲイリー・ホエン財団管理委員長が、7月に神戸を訪れ、財団の話をしたいとおっしゃっています。これらのことは、世界のリーダーが日本のロータリーに大きな期待を寄せられていることの証でしょう。

さて、すでにご承知の通り、4月半ばにシカゴで規定

審議会が開催されました。柔軟性の導入という大きなインパクトがあった2016年の規定審議会と同様、新たな試みが提案され採択されました。国際ロータリー定款を改正し、国際ロータリーの加盟クラブとしてローターアクトクラブを含めることを決定しました。

また、RIを免税資格のある団体に変更するという理事会の提案を承認しました。この変更については、特別に設けられたタスクフォースが18カ月間にわたって調査を行い、税優遇措置だけでなく、外部業者からの割引によって経費削減につながると結論づけました。この税優遇措置が取られることにより、将来RIと財団が合併するのではないかという憶測が生まれましたが、RIと財団はその目的が違いますので、理事会は一切そのようなことはないかと断言しました。

会費(人頭分担金)について、2020-21年度から3年間、毎年1ドルという緩やかな増額が承認されました。「一般剰余金」の名称を、この資金の目的をより正確に表す「RI準備金」に変更しました。

詳細は、規定審議会報告に委ねたいと思いますので、ぜひ関心を持って新しい情報に耳を傾けてください。

ロータリーは、創立当初から日々変化し、成長してきました。時代の変化と共にロータリーも変化しなければなりません。大きな潮流に身をゆだねながら、ロータリーの理念を忘れることなく歩んでゆきましょう。

次年度が素晴らしい年度になることを心から祈っております。



挨拶

ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)



いよいよ次年度が本格的にスタートします。私もこれからしっかりと浅木エレクトの手助けをさせていただきたいと思います。元号も令和とい

う新しい元号になりました。考えてみますと、昭和から平成に代わった時が加古川RCの神木ガバナーの時で、平成最初の地区大会が加古川で行われました。そして、私は平成から令和に代わる時のガバナーとなり、平成最後の地区大会も加古川で締めくくることになりました。そこに縁の不思議さを感じます。いずれにしても地区大会には多くの皆様にご参加いただきましたことを感謝申し上げます。

「年年歳歳花相似たり 歳歳年年人同じからず」という有名な言葉があります。ロータリーは一年ごとに新しいリーダーのもと、新しいシステムでスタートします。その意味ではロータリーはもともと変化そのものを取り込んだ組織と言えます。

5月号のガバナー月信で、アリの法則について触れました。アリの社会ではよく働くアリと普通のア

リ、あまり働かないアリの比率は2：6：2ということですが、よく働くアリばかりを集めて組織を作ってもやはり2：6：2になるということです。しかしながら、人間の社会では、リーダー次第で組織は活性化し、その比率は異なってきます。本年度、加古川中央RCは地区への奉仕のもと、2が3になり、4になり、と組織が活性化しました。おそらく神戸RCもそうなることだと思います。ガバナー輩出をchanceと捉え、challengeすることによって、まさにchangeが生まれます。本日お集まりの新しいリーダーのもと、組織が活性化されれば、よく言われるロータリーの閉塞感を打破することができるのではないかと思います。

浅木エレクトとは、ノミニエ時代から2年近くご一緒させていただきました。私と違い、常に温和な本当に素晴らしい方です。どうか新しいリーダーの皆様方がしっかり支えていただき、また、クラブのリーダーとして新たなロータリーの一步を築かれることを祈念して、挨拶とさせていただきます。



次年度RIテーマと地区活動方針

ガバナーエレクト 浅木 幸雄(神戸)

○次年度RIテーマと「四つの強調事項」

2019-20年度RI会長 マーク・ダニエル・マローニー Mark Daniel Maloney氏は、米国アラバマ州・ジケータ Decatur ロータリークラブ在籍の64歳、税法・遺産・農業法を専門とする法律事務所 (Blackburn, Maloney, and Schuppert) を経営の傍ら、米国弁護士協会・農業関係委員長を務められ、また地元ジケータでは産業・文化・教育など多方面に於けるリーダーとしても活躍されています。

一方そのロータリー歴も目覚ましく、1980年25歳でのクラブ入会後、弱冠34歳で地区ガバナーに就任、その間グローバルかつ精力的な活動を経て、この度64歳でRI会長選出という、我々の感覚としてはまことに異例ともいえる若さ、早さでロータリーの階段を駆け上がった人物です。

この人格識見とも円満な「若きベテラン」マローニー会長エレクトが掲げた2019-20年度のテーマは

ロータリーは世界をつなぐ Rotary Connects The World
先の国際協議会冒頭にて、ロゴマークとともに力強く発信されました。

ロゴマークの解説

中央の碧い丸は地球を、上下左右に配置された四色の人型は人種と東西南北を象徴しています。即ち「世界をつなぐ」をイメージしたデザインです。

四つの強調事項

1. あらためて職業分類制度を活用し、多様かつ新しいモデルの会員増強、クラブの結成を以てロータリーを成長させる。
2. 家族との時間とロータリー活動の時間が競合せず、互いに補完し合う文化を構築する。地域への奉仕に意欲を持つ、若い職業人の日常と現実を受け容れる。
3. 多忙な日々の仕事との両立を可能とする、柔軟かつ現実的なロータリーに於けるリーダーシップの変革。
4. 来る2020年に75周年を迎える国連と、115周年を迎えるロータリーのパートナーシップを強化する。互いに共有出来るコミットメント「持続可能な開発目標 (SDGs)」に焦点を当て、奉仕と平和の精神のもと、世界中の人々がつながり、行動可能なロータリーのインフラを提供しよう。

彼は云います。いま、我々の周りにはロータリー発足当時とは想像も出来なかった友情とネットワークを築くための方法が存在するが、ロータリーがもたらす「つながり」は独特で今なお他に類を見ない。我々がロータリーで得る体験の中核こそ、この「つながり」であり、それゆえに我々はロータリーにとどまるのだ、と。

そして呼びかけます。ロータリーを成長させる方法もこの比類ない基盤にある。これによって我々は人類の持つ素晴らしい多様性につながり、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を産むために手を取り合って行動する世界を目指しましょう、と。



2019-20年度RIロゴマーク

積極的に「つなぐ」「行動する」、この基本テーマをモットーとし、来る次年度の運営方針と重点目標を申し述べます。

○2019-20年度 地区運営方針と重点目標

私の行動指針は以下の通りです。

ガバナー行動指針
地域社会をつなぎ (Connect)
多様性に富んだ会員組織へ変革する (Transform)

地区運営方針および重点目標のKey Wordは一貫して「つなぐ」と致しました。先に述べたRIテーマを基盤として、かねて私が当地区の課題として強く認識している

■会員数の減少

■地区組織 (特に委員会) の活動の効率化

以下の各項目はこの二つの課題に向けた行動を促すものであります。

◆RIテーマおよびロータリーの目標達成を目指す

ロータリーの目標達成とは、即ち会員基盤を成長させる「つなぐ」ことに他なりません。

先のマローニー会長エレクトの言にあるように、前 (17-18) 年度の退会者が過去最大を数えるなど会員数の減少は世界規模で進行しています。当2680地区の会員数も過去10年一貫して減り続けており (2019.7.1現在2,763名)、もはやこの状況を一過性のものとして看過出来ないことは既に皆さんも充分認識されている通りです。この困難を打開するための具体的方途は「会員基盤を成長させること」以外に無いのではないのでしょうか。

現在当地区1クラブあたりの平均会員数は37.84人ですが、さらに分布を見れば20~30人台のクラブが大半を占めていることが判ります。かねて私は円滑なクラブ運営を行うための最低ラインを40名と考えておりますが、現在これを下回っているクラブには何とか頑張って戴き、当地区の平均会員数がこの40名を超えるよう切望している次第です。

◆女性会員・若い会員を増強し、多様な人々をロータリーでつなぐ

かつて1988-89 (神木董PG) 年度のRI規定審議会に於いて初の女性会員が承認されて以来、既に30年を経過し、もはや世界の女性会員比率は22%に達しております。ところが当2680地区のそれは4%に過ぎません。何とか少しでも早くこの比率を上げたいものです。私たちの地域社会で活躍する女性を積極的に見出しましょう。

若い会員の入会に関しても、私は既存のクラブにおけるハードルがやや高いように感じております。

例として、①入会金・会費の負担軽減、②例会数・出席数、或いは例会場設定の工夫など、働く若い世代に向け間口を広げるよう考慮されては如何でしょうか。

また、既存クラブで思い切った改変が困難な場合は、衛星クラブ、モーニング・イブニングクラブなど、より日常の仕事との両立が容易な環境を設けた上で、将来は既存クラブへの入会を導く、という方法もあるのではないのでしょうか。これら新しい形態のクラブは、既に当地区内においても力強い活動を始めています。クラブ相

互の情報交換を通じて、ぜひ設立を検討して欲しいと思います。

また、私たちの古くからのfamilyであるローターアクト・インターアクトへの手篤い支援はもちろん、青少年交換やRYLAなどの学友にも、この機会を通じて積極的に声をかけて下さい。

時代の趨勢は我々の想像を超えるスピードで刻々と移り変わっています。それに取り残されることなく、現代に相応しい、多様な社会的背景を持つ優れた人材を求め、見出し、迎え入れて行きたいものです。RIテーマでも述べられているように、この機会に皆さんのクラブの職業分類表をあらためて見直し、活用にあたって今すぐ再検証をお願いします。

◆公共イメージと認知度の向上を図り、地域社会とローターをつなぐ

歴代年度を引き継いで今年度の矢野ガバナーも一貫して取り組まれ、ご承知の通り独自の目覚ましい成果を上げてこられました。次年度も県下各地域との密接な連携と発展改善のため、まず地区補助金プログラムの積極的活用を各クラブに強く呼びかけることから始めたいと存じております。

◆ローターのプログラムを積極的に支援し、安心、安全をモットーに青少年と世界をつなぐ

ご承知の通り、多くの青少年プログラムは既に活発かつ継続して取り組まれておりますが、次年度はローターアクト・青少年交換・RYLA・R財団・米山の5学友それぞれの特性に相応しい支援を手篤く行っていく所存です。彼ら、彼女らはローターで得た貴重な体験を生かし、それぞれの地域のみならず世界を舞台に活躍している素晴らしい事例も数多く見られます。その支援を通じて、もし彼ら、彼女らを私たちの新しい仲間として迎え入れることが出来れば、先に述べた通り、さらに多様で充実した会員基盤の成長にもつなげることが出来ます。

◆My Rotary を通じて、ローター情報を取得・発信することにより、ローターと世界をつなぐ

国内はもとより、世界の様々なローター情報を居ながらにしてたちまち手に入れ、すぐさま発信も出来る、この優れたツールをもっともっと積極的に活用しましょう。情報伝達の高速度、精密化がいつそう加速度的に進むであろう当今、クラブ間、さらに会員間でいち早く行われる情報の共有は、もはや必須の事柄と云って過言ではありません。

歴代ガバナーのご努力と皆様のご理解により、当地区の登録率が国内他地区に比して高いレベルにあることを喜ばしく思っておりますが、私としては貴重かつ素早い情報共有の「入り口」であるMy Rotary登録率をさらに押し上げたく、次年度はさらに目標を上積みします。

もちろん登録方法や手順については、いっそう判りやすく丁寧なご案内に努めて参りますので、是非とも目標の必達にご協力下さい。

そして今ひとつ、以上述べた各項目運営の効率化を重視し、課題解決のため以下の方針を掲げます。

◆地区活動のさらなる効率化・活性化

ともすれば前年踏襲、継続の名を借りた旧套墨守に陥りがちな従来の地区運営、とくに各部門における委員会活動を活性化し、先の運営方針に沿ったクラブ支援をいっそう効率的に進めるため、次年度に於いて地区組織の再編に着手します。

具体的には別項の編成表をご参照願いますが、再編にあたっては以下を重要な事由としています。

*RIの基本方針を尊重する

取りも直さず、現RIの枠内における編成を基本とし、特に地区内委員会の構成については可能な限りRI理事会が決定した方針(2019.7.1施行)に従う。

*クラブにおける委員会組織と地区内のそれを整合させる

各クラブに於いて重要かつ優先的に取り組まれるべき目的に沿って委員会組織を構成する。

*委員会活動の効率化をさらに推進する

ガバナー事務所による種々サポートの簡素化と効率化を図る。

当項目の基本方針は以下の通りです。

1. RI理事会決定に準拠し、以下の地区委員会・小委員会を必須のものとする。
委員会→財務・会員増強・公共イメージ・ローター財団・研修
小委員会→補助金・資金推進・ポリオプラス・財団資金管理・ローター平和フェロシップ
2. 同じく以下の地区委員会・小委員会は任意のものとする。
学友・社会奉仕・地区大会・国際大会推進・インターアクト・国際奉仕・地区プログラム・ローターアクト・RYLA・青少年交換
3. 各委員会内の議論と活動をさらに活性化するため、可能な限り新しい人材を見出して登用し、運営方法にも工夫を加える。
4. 職業奉仕部門については、とりわけ我が国のロータリアンが奉仕の柱石としてきた歴史を踏まえ、その理念を研究し敷衍する専門小委員会を研修委員会内に設け、引き続き職業奉仕に対する理解を深める。
皆様に攔かれてはご意見、ご議論もあるものと思いますが、ひとこと申し添えれば、ここで述べた方針の土台には「会員数の大幅な増大が困難な時代にあっても、今後地区内すべてのクラブからガバナーを輩出できるよう、無理のない地区運営を目指す」という希望が込められていることをぜひご理解下さい。

◆年間数値目標

以上の地区運営方針と重点目標に基づく、次年度の数値目標は以下の通りです。

■ 会員増強 各クラブ	純増1名
■ My Rotary 登録率	70%
■ ローター財団年次基金	1名あたり 160ドル
■ ポリオ基金	1あたり 30ドル
■ 米山記念奨学金	1名あたり 17,000円

◆おわりに

ご承知の通り、今年度の国際大会は来る6月1日～5日、ドイツ・ハンブルグで開催されます。

ぜひ一緒に参加しましょう。

そして翌2020年(6月6日～10日)の開催地は、奇しくもちょうど半世紀前(1968-69年度)、我が国から初めて輩出された東ヶ崎潔RI会長年度と同じハワイ・ホノルルであります。

また、当時の提唱テーマは「participate 参加し、敢行しよう」という簡潔で力強いもので、今なお私の記憶に鮮明に残っております。

どうか皆様、次年度もさまざまなローター事業に積極的に参加し、敢行して下さい。

一年間宜しくお願い致します。

● ● ● 地区運営方針 ● ● ●

ガバナーの行動指針

地域社会をつなぎ（Connect）、多様性に富んだ会員組織へ変革する（Transform）

地区運営方針並びに重点目標

- ◆RIテーマおよびロータリーの目標の達成を目指す。
- ◆女性会員・若い会員を増強し、多様な人びとをロータリーでつなぐ。
- ◆公共イメージと認知度の向上を図り、地域社会とロータリーをつなぐ。
- ◆ロータリーのプログラムを積極的に支援し、安心・安全をモットーに青少年と世界をつなぐ。
- ◆My ROTARYを通じてロータリー情報を取得・発信することにより、ロータリーを世界とつなぐ。

● ● ● ガバナー補佐の活動 ● ● ●

- ◆グループ内のクラブを年間4回以上訪問し、クラブの現状を把握し、改善すべき問題点があれば、ガバナーと協議の上、助言、指導する。
- ◆クラブ会長エレクトが目標を設定してロータリークラブ・セントラルに入力し、その目標を達成できるように支援する。
- ◆関係委員会と連携し、クラブやグループが、補助金プロジェクト、青少年プログラム及び米山奨学生の支援に積極的に取り組むように、クラブに対する支援やクラブ間の調整にあたる。
- ◆関係委員会と連携し、各種セミナー（ロータリー研修デー）や地区大会に多数のクラブ会員が参加するように推進する。
- ◆将来の地区リーダーを探し、その育成を援助する。



● ● ● 地区委員会の活動 ● ● ●

全委員会共通

- 委員会相互間および地域社会との情報交換を密にし、効果的に委員会活動を行う。
- 学友小委員会をコアにして、ロータリーファミリーの集い等の行事を企画、実施する。
- 地区委員会のコンパクト化とガバナー事務所の省力化による地区経費の削減と運営の効率化を行い、大幅な会員増が見込めない時代にあっても、どのホストクラブでも無理のない地区運営を目指す。

各委員会活動

研修委員会

- ガバナー補佐研修、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー（PETS）、地区研修・協議会の計画において、ガバナーエレクトを援助する。
- 地区指導者育成セミナー、クラブとローターアクトの指導者育成セミナー、その他の研修会の計画において、ガバナーを援助する。
- 将来のリーダーを育てる研修を実施する。
- ◆ **職業奉仕・職業倫理小委員会（研修委員会所属）**
 - ロータリーの目的第2項を踏まえた職業奉仕の基本理念が、広く会員に理解されるよう効果的なセミナーを実施する。
 - 地区推奨職業分類表をアップデートし、地域の実情に沿った会員基盤を築くように奨励する。
 - 職業奉仕月間（1月）におけるクラブの関連プログラムに協力する。
- ◆ **RLI小委員会（研修委員会所属）**
 - クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化する。
 - クラブディスカッションリーダー育成のため、RLI研修を行えるように準備する。

戦略計画委員会

- 地区戦略計画を立案し、ガバナーの任務遂行を補佐する。
- クラブが戦略計画を立案し、実行するのを支援する。
- 日本のロータリー100周年に対する当地区の取り組みについて検討する。

規定審議委員会

- 2019年決議審議会への対応と、2022年規定審議会の準備を行う。

危機管理委員会

- 地区並びにクラブでの危機管理事案に速やかに対応する。
- クラブにおける危機管理への認識を高めるためのセミナーを実施する。

クラブ管理運営委員会

- 関係委員会と連携し、クラブをサポートし、クラブの活性化と多様化を図る。
- クラブの活性化のための長期戦略を推進するよう協力する。
- クラブの柔軟性について検討する。
- 効果的なセミナーをロータリー研修デーにおいて実施する。
- My ROTARYへの登録率向上の推進を図る。
- ITによってクラブ、地区の運営を効率化するための方策を提案する。

● ● ● 地区委員会の活動 (続き) ● ● ●

会員増強委員会

- 会員基盤の多様化を推進する。
- 会員増強に成功した地区やクラブの手法を検証し、各クラブにその手法を紹介する。
- クラブや学友小委員会との情報交換を密にして会員増強につなげる。
- 退会防止に向けた企画、提案を作成し、推進する。
- 新クラブの設立を推進する。
- 効果的なセミナーを実施する。
- 会員増強・新クラブ結成推進月間（8月）におけるクラブの関連プログラムに協力する。

公共イメージ委員会

- ロータリーの公共イメージと認知度の向上を図る。
- 効果的なセミナーをロータリー研修デーにおいて実施する。

社会奉仕委員会

- ロータリーの奉仕の理念が広くいわたるセミナーを実施する。
 - 地区補助金プロジェクトの申請が円滑に行えるように、クラブやグループをサポートする。
 - 発達障害理解のための講演会を開催する。また、クラブの講演会をサポートする。
 - プロバスクラブとの相互理解を図る。
- ◆新たに社会奉仕委員会として
- 青少年奉仕に関連するプログラムを推進する。
 - 効果的なセミナーをロータリー研修デーにおいて実施する。
 - インターアクトクラブの活動を支援し、より活性化するための方策を提案し、実施する。また、新たなインターアクトクラブの設立を目指す。
 - ローターアクトクラブの活動を支援し、ローターアクトクラブと共に会員増強及びクラブの拡大の方策を研究する。
 - RYLAプログラムへの会員の理解を深め、実施する。

国際奉仕委員会

- クラブや地区がグローバル補助金等を活用し、多様な国際奉仕活動が実施できるように支援する。
 - 国際奉仕に関連する月間において、クラブの関連プログラムに協力する。
 - VTTプログラムを推進し、チームの派遣ないし受け入れに協力する。
- ◆新たに国際奉仕委員会として
- クラブ、学校との協力のもとに青少年交換プログラムに取り組み、危機管理の観点から関係者がYESSに参加するように努める。
 - 効果的なセミナーをロータリー研修デーにおいて実施する。
 - 青少年奉仕月間（5月）におけるクラブの関連プログラムに協力する。
- ◆学友小委員会（国際奉仕委員会所属）
- 学友会相互間の交流を促進し、ロータリーファミリーとしての一体化意識を形成する。
 - 学友の地区やクラブの行事への参加を積極的に推進し、ロータリーに対する理解を深め、会員増強委員会と共に新しい形の会員基盤を考える。
 - 関係委員会と連携し、ロータリーファミリーの集いを企画し、実施する。

ロータリー財団委員会

- 補助金管理説明会、ロータリー財団セミナー、補助金管理セミナーを実施し、ロータリー財団への理解を深め、財団への寄付を推進する。

- ポリオ撲滅のための活動を積極的に支援する。
- 奨学金ならびに平和フェローシッププログラムを推進する。
- 効果的なセミナーを実施する。
- ロータリー財団月間（11月）におけるクラブの関連プログラムに協力する。

米山記念奨学委員会

- 米山記念奨学会の目的や活動内容についての会員の理解を深める。
- 米山奨学生と会員の交流を通じて、ロータリーに対する理解を深め、国際親善の積極的な推進を図る。
- 米山月間（10月）におけるクラブの関連プログラムに協力する。
- 効果的なセミナーを実施する。
- 米山記念奨学会への寄付を推進する。
- PHD協会の活動を支援する。

財務委員会

- 地区予算案の作成並びに地区資金の管理を行い、地区の財務に関する年次報告書を作成する。
- 収支が正確に保持されているか常時確認する。

奉仕プロジェクト特別会計委員会

- 奉仕プロジェクト特別会計への資金支援申請書を審査し、プロジェクト実施後の報告を確認する。

監査委員会

- 地区活動並びに会計が適切になされたかを監査する。



地区研修・協議会によせて

次期地区研修リーダー 滝澤 功治(神戸須磨)

地区研修・協議会は、過去出席経験があっても、次年度、クラブで理事や委員長などの役職を務められる会員は必ずあらためて出席しなければ



ならないとされています(ロータリー章典20.060.6)。これは、クラブでリーダー的役割を果たすには、地区研修・協議会で最新のロータリーの情報を入手し、新しい年度をどのように進めていくかを考えなさいということでしょう。

今、各クラブでは積極的に会員増強に取り組んでいますが、一方で残念ながら入会後ごく短期間で退会する会員も出ていると思います。おそらくこの人たちはロータリーのことをほとんど知らないまま、ロータリーに興味を持たず、やめているのではないのでしょうか。クラブは会員に適切な研修をするべきですが、残念ながら小規模のクラブが多い現状の下では、研修まで手が回らないというのが実情かと思われる。

私は次年度地区研修リーダーを務めますが、その役割は、このように研修にまで手が回らないクラブの手助けをすることと考えています。クラブには自治権というものがありますが、会員数の減少が止まらない現状を見れば、手をこまねているわけにはいきません。私は研修を効率的に進めるには、ただ単にセミナーを単発的に実施し、ロータリーについて一方的に解説をして済ませるのではなく、お互いに意見を交換し、共に学んで知識を共有

するという形が望ましいと考えています。その意味で、ぜひとも次年度は研修システムとしてもうすでに全国34地区のうち20地区を超える地区で採用、実践されているRLI(ロータリー・リーダーシップ・インスティテュート)という手法を地区として初めて取り入れ、何とかこの地区にも定着させたいと考えています。

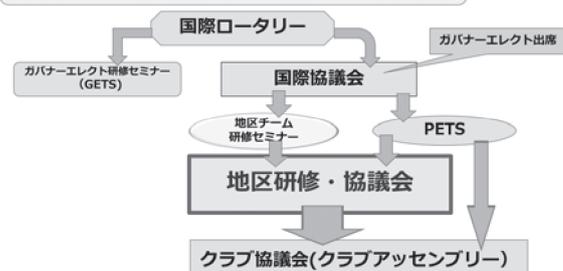
クラブへのサポート(地区委員会の役割)



- 各委員会は、担当分野と目標に基づいてクラブをサポートします。
- 特に、新クラブや活動が停滞しているクラブに対しては、地区委員会が貴重な支援を提供できます。クラブ委員会の構造を参照し、クラブのどの委員会(または小委員会)と協力できるか検討しましょう。
- クラブが現状分析を行って強みと弱みを突き止められるよう援助し、各クラブが支援を必要とする分野を判断しましょう。クラブ訪問や連絡を行うガバナーとガバナー補佐からも、支援を必要とするクラブの情報を得ることができます。必要であれば、地区研修リーダーと協力してクラブの研修計画を立てましょう。

「地区を成功に導くリーダーシップ 委員長権」3ページ

ロータリーの研修(情報のフローチャート)



奉仕の心を学び、伝え、実践しよう～ロータリーの変遷と本質から～ (ダイジェスト)

2019年RI研修リーダー 山崎 淳一 (RID2830・五所川原)

《国際協議会の報告》

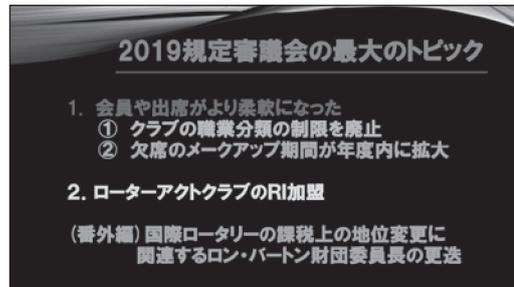
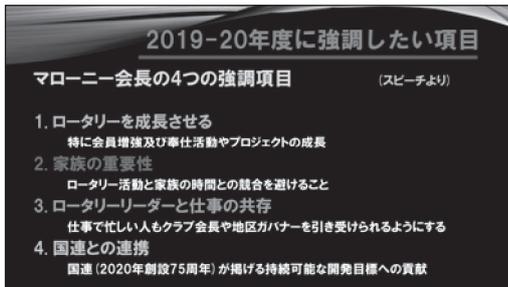
RI研修リーダーとして国際協議会に行ってきましたが、2019-20年度の国際ロータリー会長はアメリカのマーク・ダニエル・マローニーさんです。彼の選んだ会長テーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。ロータリーを通じて人々が手を取り合い、行動を起こすためのつながりを築いていきましょうと、呼びかけています。スピーチの中では、ロータリーの成長、家族の重要性、仕事との共存、国連との連携を強調されていました。



- a) クラブの職業分類の制限を廃止
- b) 欠席のメイクアップ期間が前後2週間から年度内に拡大

- ② ローターアクトクラブの国際ロータリー加盟
- ③ 規定審議会後の、見解表明案「国際ロータリーの課税上の地位変更」に関連するロン・パートナー財団管理委員長の更迭

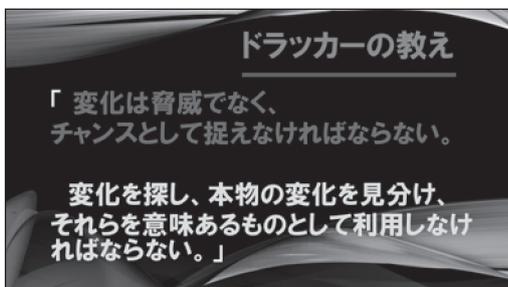
さて、国際ロータリーの変化の源は2001年の規定審議会にあると、私の同期のガバナーである東京の新藤信之元ロータリー文庫運営委員長の説があります。RI理事会が提出し採択された3つの制定案が、その後の会員・クラブ・地区の再編成へとつながっていると分析しています。



《国際ロータリーの変化》

よく「ロータリーは変わった」という声を耳にします。変化についてドラッカーはこう教えています。

「変化は脅威でなく、チャンスとしてとらえなければならない。変化を探し、本物の変化を見分け、それらを意味あるものとして利用しなければならない。」そういう意味で、皆様と一緒にロータリーの変化を5つの視点からとらえ、その内容について確認したいと思います。



1. 規定審議会の変化

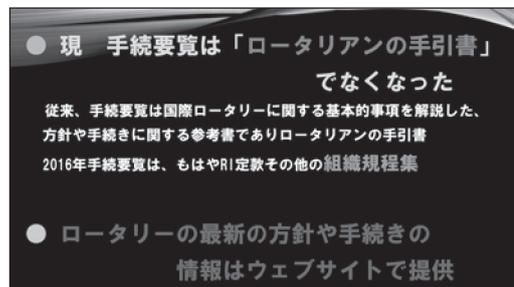
2016年は例会の出席と会員身分に柔軟性が導入された規定審議会でしたが、2019年規定審議会の最大のトピックは次の点だと思います。

- ① 会員や出席がより柔軟になった

2. 手続要覧の変化

2016年手続要覧から白いページが激減されました。現在の手続要覧はロータリアンの手引書ではなく、単なる組織規程集となったのです。

今後ロータリーの最新情報はインターネットを中心に配信されます。しかし、今や我々の仕事や生活がそうであるように、これは時代や環境の変化にしっかり対応している姿であることがわかります。

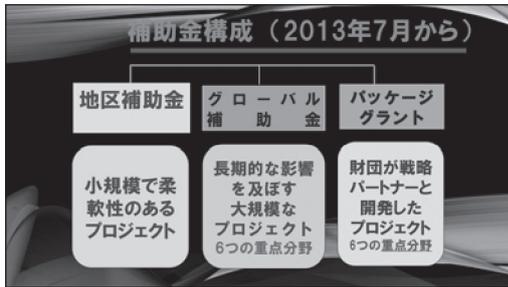


3. ロータリー財団の変化

2017年にロータリー財団が100周年を迎えることを踏まえ、2005年財団管理委員会は「未来の夢計画」の検討を始め、2013年度からはすべての地区で実施されましたが、この背景には複雑になってしまった補助金システムの簡素化があります。

現在はロータリー財団プログラム、補助金構成、

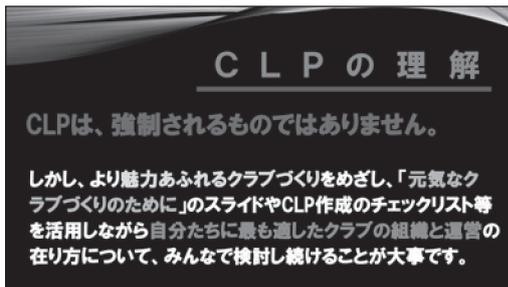
6つの対象重点分野などわかりやすいシステムに変更されました。



4. DLPとCLPについて

1987-88年チャールズ・ケラー会長が長期計画委員会を設置しました。地区組織と運営の合理化を目的としたDLPは1992年からのパイロットプログラムを経て、2002年からは全地区に採用が義務付けられ実施されました。

これを受けてCLPが立案推奨されました。強制されるものではありませんが、自分たちのクラブの在り方を見直すことは大切だと思います。



5. RI戦略計画

2001-02年度RIは組織を導く長期的な戦略計画を立案し、その後戦略計画委員会の設置による「戦略計画」の見直し、「年次目標」「ビジョン声明」「中核となる価値観」「ロータリーの使命」「ロータリアンの行動規範」の発表そして変更、「世界を変える行動人」キャンペーンの推進など、目まぐるしいほどの変化を感じます。

しかし、これらは目的地に達するまでの道しるべ、コンパスと言えましょう。これらの変化は時代や環境の変化に対応したものであり、ロータリーの本質や哲学は何一つ変わっていないのです。



《ロータリーの目的》

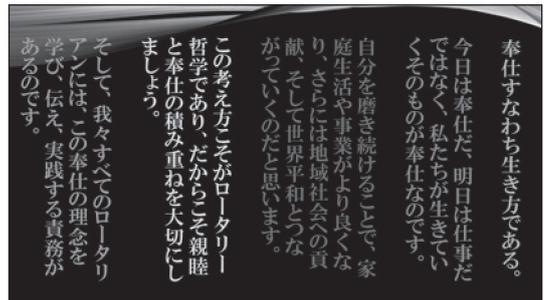
ロータリーの目的は和訳では難解ですが要はどの理解するかであります。私流にロータリーの目的を表現すると次の通りです。

「奉仕の心を学び、伝え、実践しよう。」

- ①多くの皆さんと、ゆるぎない信頼関係を構築しましょう。
 - ②職業倫理を高め、仕事を通じて社会に貢献しましょう。
 - ③家庭を愛し、仕事を愛し、社会を愛して生きていきましょう。
 - ④国際理解を深め、平和を推進しましょう。
- この4つを一体として実践し続けましょう。」

《ロータリーの本質》

ロータリーは知れば知るほど面白くなるし、関われば関わるほど自分を磨いてくれます。今までの多くの人々や言葉との出逢いに感謝しています。特に佐藤千壽さんの言葉、ピチャイ・ラタクル元RI会長の立ち居振る舞いから多くのことを教えられました。これからもたくさんのお睦と奉仕を皆様と一緒に積み重ねていきたいと願っています。



※お詫び：紙数の関係上、本項は抄録とさせていただきます。あしからずご了承下さい。



「クラブ活動の“対外広報”と“IT化”」

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山 守雄(RID2660・大阪中央)

各クラブの「広報委員会」の主要な職務は、以前はクラブ内での広報活動が主体でありました。

現在、広報委員会の役割として強調されておりますの

は、「ロータリーの対外的な公共イメージ向上と、認知度向上」の活動です。RIはロータリーの公共イメージについて、定期的なアンケート調査を実施しており、日本での認知度は極めて低いと云う結果が出ております。日本のロータリーは、一般社会ではあまり「馴染みがない団体」と云うこととなります。私達は日本ロータリーの存在感を分かり易い形で一般社会へ広報し、会員基盤の強化に繋げて行かなければなりません。

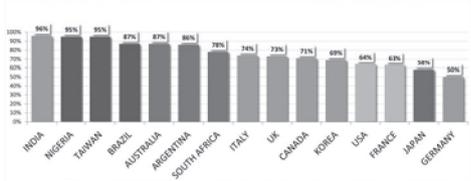


の活動内容を積極的に公開・公表することが組織の発展に繋がると云う考え方に変わってきており、「陰徳の精神」では地域社会へ繋がって参りません。もう一つの課題は、各クラブのマスメディアを通じた広報はメディアとのコネクションや接点が限られておりますから「繋がる方法」を見出して行く必要があります。

また「My ROTARY」や「Rotary Club Central」をフルに活用し、広報手段の領域を広げて行くことも検討課題です。各クラブの広報活動は、従来からの一般的な手段から、RIが近年特に推奨しておりますFacebookなど、SNSの活用による広報へとシフトしつつあります。コストが殆ど掛からず一般の人々からのアクセスが年々漸増しておりますSNSによる広報を、各クラブで前向きにご検討下さい。

世界におけるロータリーの認知度

日本社会におけるロータリーの認知度は低い

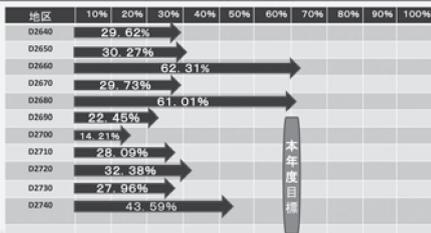


一方、ロータリーに対する一般社会の認識は「ごく限られたエリート集団」と捉えられておりますが、「社会の多様な人々に門戸が開かれた組織である」ことを社会の皆様へお伝えし、そしてクラブの会員基盤を一般社会の様々な職務に従事されている方々や、女性、学友などの若人が入会可能となるように、クラブ内での「受け入れ態勢」を整えることが肝要です。

一般社会への広報に関しての「クラブの課題」は、日本のクラブは伝統的に「陰徳」を旨として参りましたが、現代社会ではどのような組織団体でもそ

「My ROTARY」と、「Club Central」への対応は、各地区のガバナー、ガバナー補佐と地区委員会、そしてクラブの会長・幹事が、「三位一体で」、前向きに対応されているらっしゃる当地区では、RI会長が目標とされている国際水準をクリアされています。「広報と、IT化」部門の活動は、クラブリーダーの皆様方が、本当にやる気に対応されましたら、不可能なものは何もありません。「広報とIT化活動」に対する各クラブの皆様方の継続的な、ご尽力をお願い致します。

「My Rotary」第3ゾーン地区別登録率 (2019年5月7日現在)



ロータリー財団の有効活用

第3ゾーン ロータリー財団地域コーディネーター 田村 泰三(RID2710・柳井)

ロータリーとロータリー財団は車の両輪に例えられます。また、ロータリーは社団法人でロータリー財団は財団法人であると説明されることもあります。



ロータリー財団はロータリアンの寄付によって集められたお金を公益財団として管理されています。そしてそのお金はロータリアンによって世界のために使われることです。この世界のために使うロータリアンがどのように使うかを考えることが重要であり、その内容が有効なことに使われるほどロータリー財団は有効利用されることになると言えます。

有効利用は誰かほかの人がするのではなく、私たちロータリアンによる財団補助金を利用することです。初めから最高度の有効利用をされることは困難です。間違った方向でないことを確認しながら着実に進めていくことが大切です。

アーチクラフが、1917年アトランタの年次大会で、世界でよいことをするための基金を作ることを提言しました。これがロータリー財団の基となっています。

彼は、『私たちは、自分のためだけに、生きるべきではありません。誰かのために“よいこと”をする喜びのために、生きるべきです。』と言っています。

人は精神的な成長を続けることで豊かな人生をおくることができる。インスピレーションが沸く !!

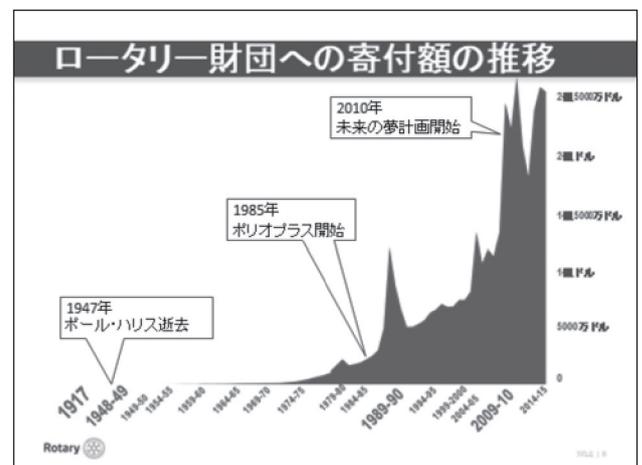
プロジェクトの効果はほとんど場合すぐに表れます。これによって有効活用の評価は過小評価されることも過大評価されることもなく下されます。私たちの判断に対する評価であり、自分自身が成長していくためには欠かすことができないことです。

国際ロータリーの戦略計画において中核となる価値観があります。その中に多様性があります。多様性という価値観を身に着けるためにはどのような手段があるのか判断しにくいところです。補助金を利用したプロジェクトを構築する際に、支援を受ける人の立場に立って考えたことが正しいものであったかどうか評価に表れているといえます。したがって、ロータリー財団を活用することで多様性という価値観を育成することになるといえるでしょう。

これこそロータリー財団を活用することによって得られる最大の効果であると考えられます。

グローバル補助金は実施国との協議や協力体制の構築などの準備に多くの労力を必要とします。一方多くの成果を得ることもできます。地区補助金は地域の援助を対象にしています。地域において必要とされている援助を見る目が育ってくれば次々とプロジェクトの材料が見つかることになります。地区補助金を国外のプロジェクトにも利用できます。奨学金にもグローバル補助金の制限なく用いることができます。

ロータリー財団の有効活用への道は限りなく広がっているといえます。大きな期待をもって財団の活用を進めてくださることを希望します。



会長部門

リーダー 浅木 幸雄(神戸)

「会長が頑張っているクラブは元気」

先に述べた地区運営方針「Connect and Transform つなぐ・変革する」を今一度ご確認のうえ理解を深めて戴き、それに沿って各地域の代表であるガバナー補佐各位より常にタイムリーなご支援ご協力を行って参ります。どうか忌憚なくご相談下さい。皆様のご奮闘をこころより願っております。



さて、今あらためて強調したいのは「例会の大切さ」「クラブ会長に求められるリーダーシップ」であります。

まず滝澤功治・次期地区研修リーダー（神戸須磨）より「クラブを元気にするリーダーシップ」と題して、席上さまざま心強いデータと指針が示されました。

- ・クラブ会長の役割は、Rotarianが率先して地域の課題や社会問題に取り組むための道筋を示すことである。
- ・クラブ会長に求められる最も大きな責務は、積極的な出席と参加を促す、例会の企画運営である。
- ・過半数のRotarianが「理想の団体」として挙げている項目「地元で直接、世代を越えて交わる機会」、これ即ち「例会を大切にせよ」という指針に他ならない。
- ・今なお例会に「価値がある」と回答したRotarianは70%に達し、さらに「人脈の構築」を理由とした比率は50%を越えている。
- ・日本をはじめ台湾、さらに欧州において、閉鎖的環境を是とした傾向はさておき、最も価値を感じる項目として「友情と親睦」が1位に挙げられている。
- ・他のゾーンにおいては必ずしもこれを重視していない傾向もみられるが、単に価値観の相違であって、総合して世界の70%のRotarianは言わば「日本サイド」とみて差し支えないと考えられる。
- ・これら最新の情報、データはMy Rotaryを通じて容易に入手できる。

いや増して出席軽視の傾向を感じる昨今ではあるが、その一方で今なお例会が如何に大切に考えられているかが浮き彫りになっている。

ロータリーに求められる本質は変わっていない。自信を持って「会員が参加したくなる」例会運営に取り組んで欲しい。

「Rotary Clubは平均出席率が高くないと、その重要な目的を達成することが出来ない。最良のClubと

は、最高の出席率を保持するClubである」

ポール・ハリス（佐藤千壽氏の著書より）

次に、高瀬英夫ガバナーノミニ（西脇）より、2001-02年度リチャード・キングRI会長の講演「ロータリーからあなたへ」に基づく「ロータリーのよいところ」を再確認するための20項目を挙げた文書のプレゼンテーションがあり、さらに黒田建一・次期地区危機管理委員長（西宮イブニング）からは「クラブに於ける危機管理」と題して、訴えられたハラスメント行為に対する対応と執るべき措置について詳細な説明がありました。

前者は平易簡潔にロータリーの魅力が述べられた、新会員の指導や勧誘時、或いは現会員の退会抑止にも役立つ恰好の資料となると思われ、後者はあらためて種々ハラスメントに対する現今の厳罰主義をあらためて知る機会となりました。とりわけ迅速かつ秘匿のない対応を欠いた場合において、その累はクラブ自体に及ぶという厳しい現実を我々は再認識せねばなりません。

続いて「クラブを活性化させるアイデア」として①クラブ例会の持ち方「出席したい例会にする」②クラブ会長の役割「会長の時間の持ち方でクラブが変わる」をテーマに、各テーブルでディスカッションが行われました。十分な時間的余裕がなく、皆様には大変申し訳なく存じておりますが、閉会后「話し足りない」「もっと話したい」といった意見が数多く寄せられたことには却って頼もしさを感じた次第です。

最後に・・・

例会に於ける会長スピーチは、まず何よりも「自分らしく」を心がけられれば良いと思います。また、ゲストや会員の卓話には、往々にして外では聴くことの出来ない貴重な情報がふんだんに含まれています。これらを軸に、ぜひ本会合で得た知識とヒントを役立てられ、皆様にはどうか意義ある、より楽しい例会運営を目指して欲しいと存じます。



幹事部門

リーダー 村尾憲一郎(神戸)

Q&Aと総括	カウンセラー	中村 尚義PDG (洲本)	次期研修委員会副委員長 次期RLI小委員会委員長
次年度幹事をお願いしたいこと	リーダー	村尾憲一郎 (神戸)	次期代表幹事
次年度幹事への激励	副リーダー	多木 有一 (加古川中央)	代表幹事
高瀬年度からの依頼事項	副リーダー	前川 秀一 (西脇)	次々期代表幹事
規定審議会報告会について	副リーダー	工藤 涼二 (神戸西神)	次期規定審議委員長
進行・監督	SAA	土橋 達生 (神戸)	総務管掌 次期副代表幹事
進行・監督	副SAA	山本 俊一 (神戸)	総務担当 次期副幹事

土橋達生SAAの開会と進行により、はじめにリーダー村尾憲一郎から次年度幹事へお伝えしたいことを約30分ご説明しました。概要はロータリー章典・ロータリー財団章典・クラブ定款・細則を手元に置いて読み返し、クラブ運営の柱となる会長の任務・幹事の任務それぞれをよく理解して頂きたいこと、「クラブを成功に導くリーダーシップ：幹事編2019-22年度」を参考に、就任前からステップバイステップで入念な準備をして頂きたいこと、RI理事会のDLP変更決定に従って、浅木ガバナー年度より地区委員会組織の統合と再編を行う理由をご理解頂きたいこと等でした。RI理事会が大きく方針を変えたことにより、日本のロータリアンが思いもよらなかった事が現実のものとなり、戸惑われたかもしれません。



続いて、前川秀一副リーダーによる高瀬ガバナー年度からの依頼事項について説明があり、滝澤審議会代表議員が持ち帰られた2019年規定審議会の結果を踏まえ、翌週に開催される地区規定審議会報告会の一端について、工藤涼二副リーダーによる披露がありました。



Q&Aの時間では、「7月1日よりクラブ細則の変更が必要であることは分かるが、新しい手続要覧が入手できない段階で、クラブとして実務的に無理なく対応するにはどうしたら良いのか、地区の方針を教えてください。」という質問も出て、関心の高さが窺われました。

終盤に入り多木有一副リーダーからは矢野ガバナー年度からのお礼と次年度幹事への激励があり、中村尚義カウンセラーの「幹事は事務長で実務上の代表者、いつも会員の方を向いていなければならない。会長が理想を説くなら幹事は現実の汚れたところを拭き去っていく。よどんだ空気があればそれを飲み込み、吐く息は幸せの息であってほしい。もう一つ大切なことは、色々な会合の出席率を上げることが求められる。出席率は確実にクラブ活力のバロメーターとなる。見えないところの働きが要求される。」という総括は、これからクラブ運営を託されたみなさんにとって、目の覚めるご助言であったと思います。

分科会のスムーズな進行にご協力頂き、感謝申し上げますとともに、次年度幹事各位のご活躍とご成功を心よりお祈りします。



クラブ管理運営部門

リーダー 城 守(姫路)

各クラブにおけるクラブ管理運営委員会は、ロータリーの五大奉仕の第一部門である「クラブ奉仕」をより具体的に実行していくために必要とされる委員会です。



浅木ガバナーエレクトから当委員会への要請事項6つの内、2項目に絞って分科会で取り上げました。

まず、「My ROTARYへの登録率向上の推進を図る」について。

目標を矢野ガバナー年度50%から65%に高めるとの要請ですが、既に2019年5月7日時点で61.01%になっています。これは国内34地区中2位で本日講演された横山守雄第3ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターからは、ぜひ70%を目指して欲しいとのコメントを頂きました。これだけの登録率になったのは、矢野ガバナーとガバナー補佐、そして各クラブリーダーの努力の賜物です。浅木ガバナー年度も引き続きガバナー、ガバナー補佐、そして本分科会出席のクラブリーダー予定者の皆さまのご理

解とご協力を要請致しました。

次に、「クラブの活性化のための長期戦略を推進するよう協力する」については、本分科会のテーマ「クラブの戦略計画」として取り上げました。

テーブルディスカッション前に、「長期戦略」から「戦略計画」への経緯説明及び地区内クラブにおける戦略計画委員会設置状況の報告をしました。続いて、「なぜ、クラブに戦略計画が必要なのか？」については、RIの戦略計画立案ガイドや資料、中村尚義パストガバナー作成資料に基づき説明致しました。

その後、1つのテーマごとに事例説明をしてから、①「クラブの現状を把握する」、②「クラブのビジョン・戦略計画」をテーマにテーブルディスカッションが始まりました。各テーブルでは各クラブの状況や活動など有意義な意見交換ができたようでした。

この地区研修・協議会分科会はグループ外のクラブと意見交換ができる貴重な機会です。今後のクラブ管理運営の参考にして頂けましたら幸いです。



会員増強部門

リーダー 武田 寿子(神戸西)

15時より会員増強部門分科会は各クラブの会員増強委員長68名が以下のプログラムに沿って熱心に研修・協議を行った。



まず次期武田委員長から、「会員増強のためのTransformについて」の趣旨説明があり、次年度浅木ガバナーの方針に沿って各クラブ女性と若年層の会員増強を目指すために、会員基盤をいかに多様化するかについて説明があった。

次に宇尾次期副委員長から2680地区の現状と会員増強委員長の役割について、今年度増強拡大委員会が取り組んだ様々なデータのもとに、戦略計画を立て、クラブ一丸となって取り組む必要があること、また会長が毎回スピーチの中で増強について強調し会員一同がそのことに意識を持つことが重要であると、PPを使用し具体的なお話があった。また使用したデータは各クラブから要請があれば、ガバナー事務所を通じて送付される。

その後15時30分から本條次期委員の司会で、テーブルディスカッションが行われた。班ごとにリーダー・記録者を決め、交流を深めながら以下の3点

について情報交換を行い、協議した。

テーマ「会員基盤の多様化推進に向けて」

1. 会員増強委員会はメンバーで構成されているか？
2. 卓話に地域で活躍する女性や若者を招いているか
3. クラブの健康度チェック、クラブの現状分析と10年後のクラブの在り方を模索し、改善しなければならない点は何か？

限られた時間であったが、それぞれのクラブの状況や課題点など共有することができ、次年度への準備のために委員長たちが決意を固めることができたのではないだろうか。

16時25分、最後に丸尾バストガバナーからの講評と、「どっぴりとロータリーライフにつかること」という激励をいただき閉会した。



クラブの新しい会員維持プラン例

1. クラブ全体での活動を増やし、活動を活発にする
2. 出席率向上の為、講師例会・ロータリーに関する卓話を増す
3. 元気な声出し・挨拶を4か月実施⇒ムードが変わってきた
4. 炉辺会を開く
5. 例会以外、月1回有志の飲み会を開催・ゴルフ
6. 奥様方のロータリー理解の懇親会 パーベキュー ビアガーデン



職業奉仕部門

リーダー 大内 晋二(神戸須磨)

開会挨拶で、地区組織変更の経緯について、大内より説明させていただいた。

2016年規定審議会で、職業奉仕のマニュアル化（社会奉仕化）が標準クラブ定款第6条に書き込まれた。職業倫理を職業奉仕から削ぎ落とす考え方を軌を一にするものであろう。これをうけて国際ロータリー（RI）理事会は「2019年7月より地区リーダーシッププラン（DLP）の実施につき、職業奉仕委員会と青少年奉仕委員会の責務を、社会奉仕委員会に統合する」と決定（2017年6月会合）した。地区運営は、国際ロータリー理事会が決定するDLPを準則する。このため、職業奉仕委員会が地区から消滅するのではないか、その結果、地区内クラブの「職業奉仕」の決定的停滞をもたらすのでは、との見方が広がっていた。

浅木年度の地区組織表に注目が集まった。しかし、第2680地区の底流にある「職業奉仕」をロータリー思想の中核として捉えるロータリー観を伝承し、地区の使命は地区内クラブを支援することであると自覚する立場から、浅木年度は研修委員会内に「職業奉仕・職業倫理小委員会」として設置し、「職業奉仕委員会」の消滅を回避することとした。

プログラムの第一は、安平パストガバナーより「ロータリーの歴史」を中心とした講話をいただいた。ロータリー運動の歴史にあって「職業奉仕の理念」が中核にあったことをスライドと配布資料により平易に説明していただいた。業界を代表する世界的企業のデータ偽装や不正経理などを慨嘆され、今こそ実業倫理に思いを致さなければならないと強調された。「愛情の世界に生きる心をもって打算の世界をコントロールしようとする考え方が職業奉仕の原理である。愛の心をもって職業を営んでいると、信用という保護膜につつまれ、長期的に安定した強靱な体質の企業を



作り上げることになる。この原理の総体を職業奉仕と呼ぶのだ」と、故深川純一パストガバナーの言葉で講話を締めくくられた。

プログラムの第二は、研修委員会中村尚義副委員長から「RLIについて」の解説と、職業奉仕を研修委員会が担当する意味が説明された。RLIとはロータリー・リーダーシップ研究会（Rotary Leadership Institute）のことで、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、ロータリーを活性化することが目的であること。RLIは独特なディスカッションによる研修を採用しているが、これを成功させるには、ディスカッションを誘導するファシリテーター（進行役）が効果的に機能することが肝要であること。このファシリテーターの養成が浅木年度研修委員会の一つの柱である、などが提示された。

そして、クラブの中心目的は会員のロータリアンとしての成長であり、クラブ目的の推進を地区研修委員会はRLI方式の普及という形で支援すること。RLIの中心テーマとして「職業奉仕」を取り上げること。その理由は「実力の涵養、人格の深耕」というロータリアンとしての成長は「職業奉仕」を中核とする思考を措いてはなしえないからだとされた。「職業奉仕」をテーマとするための教材の制作、設問の吟味などの検討が、委員会のもう一つの柱であり、職業奉仕小委員会を研修委員会内に設けた理由であると、中村副委員長は明らかにされた。

この後、職業奉仕部門分科会に参加のクラブ職業奉仕委員長を十グループに分け、RLI方式のディスカッションを試行した。RLI方式に習熟していない次期研修委員がファシリテーターを務めたため危ぶまれたが、年齢、ロータリー歴などに大きな差のある初対面のロータリアンが、ファシリテーターの発問で順次1分ほどずつ活発に話した。RLI方式の効果を予感させるものがあつた。

池信秀明副リーダーの挨拶で職業奉仕部門を閉じた。



社会奉仕部門

リーダー 藤井 恵一(篠山)

リーダー藤井恵一、次期社会奉仕副委員長の開会と進行により、はじめに、カウンセラー矢野宗司次期社会奉仕委員長よりロータリーの社会奉仕理念の成り立ちについて



歴史的推移、決議23-34『綱領に基づく諸活動に関するロータリーの方針』、『社会奉仕に関する声明(決議92-286)』をもとに、その後、ロータリークラブにおける社会奉仕プロジェクトとして3つの社会奉仕プロジェクトのメリットとデメリットについて話されました。その3つとはすなわち、

- ①クラブ独自の予算による社会奉仕プロジェクト
メリットは、クラブの自由裁量で実施可能、デメリットは、用途の公正さが不明確
- ②地区補助金を使った社会奉仕プロジェクト
メリットは、資金管理が明瞭、資金の補助があること、デメリットは、申請時期の限定、財団による制約、書類の煩雑さ
- ③奉仕プロジェクト特別会計を使った社会奉仕プロジェクト
メリットは、財団による制約がない、デメリットは、年度により変更

続いて、副リーダーの瀬戸徹次期社会奉仕小委員長より、地区補助金の活用の仕方並びに浅木年度実施の地区補助金を使う社会奉仕プロジェクトの申請が23件あり、現在予備審査中である旨の説明がされました。今後、その中のプロジェクトで奉仕プロジェクト特別会計を使った社会奉仕プロジェクトに変更になるものもあるとの報告もされました。

副リーダーの山口宰社会奉仕副委員長より、発達障害理解のための地区やクラブの取り組みについての説明がありました。来年1月25日(土)に神戸芸

術センターにて地区主催の発達障害講演会が、開催される旨の告知も行われました。

19-20年度の地区運営方針に基づき、社会奉仕委員会のプロジェクト後の社会とのコネクトということで、副リーダーの濱浩次期公共イメージ委員長、浅見昭彦次期公共イメージ委員会委員から下記のとおり、事業後の広報、現状での新聞紙上における広報実績、今後の方策等の話をいただきました。

地道な活動、知ってもらうために

(浅見委員講話概要)

ロータリークラブの認知度は、「名前は知っているけど、よく分からない」というのが正直なところでしょうか。いいか悪いかは別として、ネット時代のブランディングとは、情報が集まる場に参加しなければ忘れられてしまうということ。ただ、悪意をもった情報が流布されると、消し止めるのは難しい。ブランド棄損は築城3年落城1日、いや一瞬です。何のために、誰に向けて訴えるのかを整理し、情報発信を続けることが肝要です。

最後に、クラブの次期委員長の皆様方からの質疑にお答えし時間通り終了しました。



国際奉仕部門

リーダー 山本 正二(西宮夙川)

国際奉仕小委員会：国際奉仕委員長 山本正二（西宮夙川）

外国と協力して地域社会の人々に“なにかいい事をしよう”とお考えの場合、クラブ独自でやる、という方法以外に地区の国際奉仕委員会として



お手伝い出来る方法があります。まず地区補助金奉仕プロジェクトとして立ち上げる方法です。これは比較的少額で、短期で終了できる案件が対象で、ロータリー精神に反しない限り、自由に選べます。一方グローバル補助金（人道的プロジェクト）として立ち上げる方法もあります。これは30,000ドル以上の大きなプロジェクトが対象で、持続性も要求されます。そして6つの重点分野に関係していなければなりません。各クラブにてプロジェクトをお考えの場合は地区ガバナー事務所まで連絡いただければ出来るだけサポートさせていただきます。

VTT関係：国際奉仕副委員長 圓尾美佳（龍野）

VTT（Vocational Training Team）も地区補助金VTTとグローバル補助金VTTが可能です。以前とは違って送り出しのみ、または迎え入れのみでも可能です。外国のロータリークラブと関係を深める良い機会となりますからぜひプロジェクトをお考え下さい。地区委員会として出来るだけサポート致します。

最後に、松谷齊泰会員（神戸東）から、グローバル補助金VTT「病理人材育成プロジェクト」（受入期間：3月17日～4月1日）（提唱：神戸東RC・カンボジアのプノンペンメトロRC）の実施報告がありました。

学友小委員会：学友小委員長 永松潔和（神戸）

現在当地区にはRYLA学友会、ロータリー財団兵庫学友会、米山奨学生学友会（兵庫）、青少年交換学友会（ROTEX）があります。更にローターアクトの学友会の創立も現在検討中です。

RIはこれら学友をロータリーファミリーと位置づけ将来ロータリアンになって会員増強に繋げる構想を持っているようです。しかし現在、学友からロータリアンになったメンバーは極僅かです。理由としてはこれらのプログラムに誰がいるのかその人材がどれくらいのスキルを持っているのかが提唱並びに世話クラブでさえ把握してないことが問題であると考えます。提唱並びに世話クラブはこれらのメンバーを推薦するにあたって十分な選考をもって送り出していただきたく思います。学友小委員会では学友会総会やその他の会を企画する予定ですので、その会に来ていただき素晴らしい人材を見つけ、将来のロータリアンとして推薦していただければ幸いです。

この後、会場の各テーブルにて国際奉仕についてのディスカッションがありました。



青少年奉仕部門

リーダー 坂東 隆弘(柏原)

青少年奉仕部門分科会は、次年度より青少年奉仕委員会が廃止されるため、異例な形で行われました。

クラブの混乱を招くであろうという配慮から、社会奉仕委員会に属するインターアクト小委員会、ロータリーアクト小委員会、RYLA小委員会、国際奉仕委員会に戻す形になった青少年交換小委員会が、従来通りの青少年部門分科会として招集されました。青少年奉仕のクロスプロモーションを先駆的に推進する当地区にとっては多難の委員会構成となりました。

社会奉仕委員会を割った形になり、矢野宗司ガバナー（社会奉仕委員長）は出席がかなわず、坂東隆弘副委員長がリーダーを務めることになりました。旧青少年奉仕委員会であった中本広太郎インターアクト小委員長、奥田裕ロータリーアクト小委員長、田中賢一RYLA小委員長、白井務子国際奉仕委員会・青少年交換小委員長の4小委員長と、上谷佳宏地区財務委員長、光斎信治監査委員長に副リーダーとしてご参加いただき、青少年奉仕には最も重要な危機管理委員会の黒田建一委員長と青少年奉仕に関連深い学友小委員会の永松潔和委員長には、各分科会を抜けてご出席いただきました。また、各小委員の皆様にもテーブルディスカッションのサポート・ファシリテーター役としてご出席いただきました。



先ず、坂東副委員長より、挨拶のあと、PETSに出席がかなわず、恒例のアンケート結果発表ができなかったとの説明がありました。次いで、クラブ青少年奉仕委員長は、青少年という名前から比較的ロータリー歴の浅い若い会員がその役に付かれる傾向があるため、ロータリーについてのお話も交え、さながら講演会のような形式をとりました。ロータリーの青少年奉仕の歴史を振り返り、「青少年奉仕」の目的は「人を育てる」「心を育てる」奉仕であり、与える奉仕から育てる奉仕へと進展していった歴史を確認しました。ロータリーの団体奉仕に対する考え方も「決議23-34」の話も含めお話ししました。途中で、他分科会から来られた黒田危機管理委員長のお話が、時間の関係で坂東の話をお断りする形になり、双方解り難い話になったと思います。

続いて各小委員会報告については、青少年交換委員会と学友委員会以外をまとめて、坂東副委員長から各論をお話ししました。

毎年、クラブから日程と予算を教えてほしいとの要望があるのですが、当日配付の青少年奉仕マニュアルに掲載した主要行事予定表が大幅に削除されてしまい、予算についてもお伝えすることができませんでした。本旨が十分伝わらず、ご参加頂いたクラブ青少年奉仕委員の皆様には誠に申し訳ないことをしたと反省しております。



ロータリー財団部門

リーダー 石丸鐵太郎(神戸南)

第3ゾーンロータリー財団地域コーディネーターの田村泰三様にご臨席いただき、分科会では各クラブのロータリー財団委員長にとって有益な情報を提供することを中心にプログラムを進めていきました。



プログラム：

1. 基調講話「ロータリー財団へ心のこもった寄付を」(石丸鐵太郎リーダー)

「世界でよいことをしよう」という財団の目的のために、善意による心のこもった寄付をお願いします。

2. 各小委員会の活動について

①資金推進小委員会(山口宰資金推進委員長)

- ・クラブでの募金推進のステップ・ファンドレジングのヒント
- ・地区寄付目標額 年次寄付：160ドル、ポリオプラスへの寄付：30ドル

②補助金小委員会(佐茂省治副リーダー)

- ・ロータリー財団の使命と位置づけ
- ・補助金プログラムの説明(地区補助金・グローバル補助金)

③財団資金管理小委員会(飯田健一副リーダー)

- ・補助金の使い方の制約：別口座、口座振り込み、領収書、毎月口座残高確認、支払い開始の時期、注意ください。



- ・補助金管理説明会(7月第2週予定)参加をお願いします。

④ポリオプラス小委員会(喜多美雄副リーダー)

- ・ポリオ根絶活動のビデオ上映
- ・ポリオプラス小委員会の活動予定を説明しました。

⑤奨学金・平和フェロウシップ小委員会(佐茂省治副リーダー)

- ・地区奨学金(タイプ1、2、3)・グローバル補助金(奨学金)

3. ロータリー財団の成果

①元国際親善奨学生 植田杏奈様の留学生活の報告があり、ロータリーへの感謝のお気持ちをお話しされていました。

②グローバル補助金VTT「カンボジアにおける病理人材育成プロジェクト」

代表連絡担当者の松谷齊泰様(神戸東)による癌病理技師の育成プロジェクトの報告があり、グローバル補助金プロジェクトの成果が述べられました。

4. 地区ロータリー財団委員会からの連絡

地区ホームページから閲覧できるRI日本事務局発行「財団室NEWS」からロータリー財団の情報を逐次確認することをお願いします。

(文責：副リーダー 佐茂 省治)



米山記念奨学部門

リーダー 秦 紳一郎(洲本)

1. リーダー秦より、米山記念奨学事業全般について説明をいたしました。

東京RCが米山梅吉氏の業績を称え遺徳を偲んで立ち上げた「米山基金」から始まり、平和を願う当時のロータリアンのこの事業にかけた思いや、世界に平和の種をまく人づくりの国際奉仕事業であることをお話ししました。

当地区2019学年度は新規採用21名、継続8名、合わせて29名の奨学生をお世話し、出身国は13カ国と多くの国の留学生を迎えております。救貧型奨学金ではなく人づくり先行投資型奨学金であることや、出身国を差別することなく採用していることもお話しいたしました。

国内をはじめアジア各国に広がる学友会も紹介し、事業の成果を説明しました。

2. 三宅副リーダーより、奨学生選考に関する説明をいたしました。

個人応募ではなく指定校からの推薦による応募であること、指定校内で厳しい選抜を経た優秀な学生から書類選考と面接選考にて厳正に合否を判定していることを説明いたしました。

毎年2月に地区内の学校の留学生担当者を集めて大学説明会を行っており、多くの国の奨学生を迎えたい旨を伝えた事が、多様な国の奨学生を採用できた理由であると考えております。

3. 2017-19学年度の奨学生であった、方芳（ファン ファン）さんから奨学期間を終えてのお話をいただきました。

神戸大学で会社法を学ぶ彼女は、奨学金を受給



出来たことで如何に勉学に集中できたか。ロータリアンに接することで、社会貢献への思いや母国との架け橋になる決意を持ったかなどを話してくれました。

4. 小淵博之氏（西宮RC）より、カウンセラーの経験をお話しいただきました。

小淵さんには海外応募（海外から直接応募する制度）の神戸大学学部生であるグエン ティ クインゴックさんというベトナムからの奨学生のカウンセラーを2年間務めて頂きました。

彼女をお世話するにあたり、会話の途絶えがちであった奥様の多大なる協力が得られ、大変助かったことや、就職活動をするにあたってアドバイスをし、無事に一部上場企業に就職できたこと、大学の卒業式に出席して役目を終え、感無量であることなどをお話し頂きました。

5. 武本副リーダーより、寄付についてお話をいたしました。

寄付金の使われ方に始まり、当地区の実績を説明いたしました。また、奨学生が確約書に署名し奨学金を適正に使う義務があること、奨学生のアンケートでは経済的にだけでなく精神的にも支えられ、奉仕の心を学んだという答えがあることを話しました。寄付金の額により、採用できる奨学生の数が決まります。寄付が増えれば優秀な学生を多く採用できます。

2019-20年度の個人寄付額の目標は、17,000円です。

最後の質疑応答では、クラブ委員長の責務をお話しし、米山月間の事について質問があり、お答えいたしました。



ガバナー所感

ガバナー 矢野 宗司(加古川中央)

長時間に及ぶ研修、お疲れ様でした。素晴らしい数々の講演は皆様の心にしっかりと伝わったものと思います。情報は発信者と受け取り手



によって成り立ちます。そして、受け取り手は自分のフィルターを通して、情報を理解します。そこに誤解が生じる場合もあるのですが、今日は私のフィルターを通しての所感を述べさせていただきます。

まず1点目は規定審議会の件です。採択された内容は7月1日から適用されます。定款の日本語訳が出版されるには時間がかかりますが、次年度の会長・幹事の皆様は内容をしっかり理解して、定款・細則の見直しに着手する必要がある点をご留意ください。

2点目は次年度の地区組織についてです。浅木エレクトは工夫された組織構成をされています。国際ロータリー(RI)は理事会で青少年奉仕委員会、職業奉仕委員会を社会奉仕委員会に含めるという決定をしました。地区はRIの方針に従う必要がありますが、職業奉仕については日本のロータリー、特に当

地区は職業倫理を重視します。そのことを踏まえて、研修委員会の中に職業倫理小委員会を設けました。多くの皆様が納得される組織構成ではないかと思っています。

また、研修委員会の中にRLI(Rotary Leadership Institute)小委員会を設けました。本年度の戦略計画委員会でRLIを地区で採用することが答申され、それを受けての組織構成で、すでにその実施に向けて担当の中村パストガバナーが積極的に動かれています。ロータリーの研修においては、素晴らしいリーダーによる会員の意欲を喚起する講演とRLIの両輪が必要であると思います。是非、その実施に期待します。

そして、最後はMy ROTARYの登録率についてです。浅木エレクトが65%の目標を決定した時には地区での登録率はまだ50%未満でした。それもすでに61%を超えました。是非、目標を70%に設定をしていただければと思います。

この後は部門別の分科会が始まります。さらに、研修をしっかりと進めていただくことをお願いして、所感とさせていただきます。



閉会挨拶

ガバナーノミニー 高瀬 英夫(西脇)

閉会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まず、広いRI2680地区、北は但馬、南は淡路から全クラブのご出席を賜りましたこと

厚く御礼申し上げます。また、山崎様、横山様、田村様には、遠路お越しの上、ロータリーの今日の課題を具体的にご提示いただき、我々に考える機会を与えて下さいました事、重ねて御礼申し上げます。

先月の規定審議会で多くの制定案が議論されました。世界の動きに連動しながらも、我が地区、我がクラブにおいては、足元をしっかりと見つめ直し、議論する事が今後益々求められてくると感じております。

本日の全体会議、部門別分科会での議論を参考にクラブ協議会での熟議を経てスタートし、実り多い1年となりますよう努力して参りましょう。本日お集まりの皆様は、令和初代の会長・幹事・理事会メンバーとして、また節目の年として後々話題に上

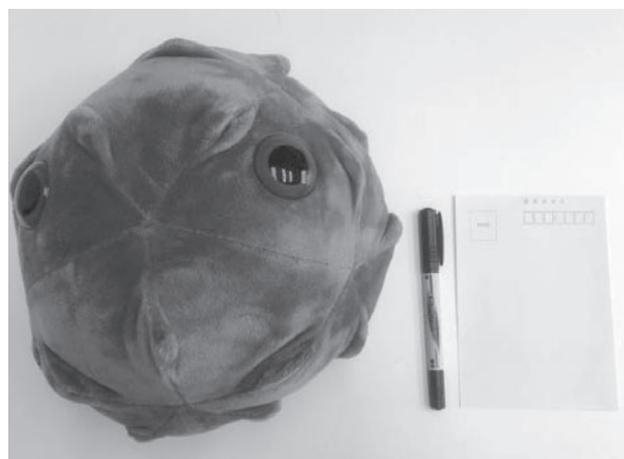


ることでしょう。

ここで、今年1月の国際協議会に出席されました浅木エレクトご夫妻のお土産をご紹介いたします。これは、奥様がクイズに正解し獲得されたものです。

我々ロータリアンが、1985年以来その根絶を目指すポリオウイルスを型取ったものです。あと少しに迫ったポリオ根絶に向けたRIの強い意志のあらわれとしてご紹介いたします。改めて全員で「最後の最後までやり切ろう」との決意を新たにしましょう。

本日はお疲れ様でした。



国際ロータリー第2680地区 2019年5月出席報告

	クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数						増減	うち女性		クラブ名	例会数	平均出席率 %	会員数						増減	うち女性
				7/1の会員数		当月末会員数		増	減							7/1の会員数		当月末会員数		増	減		
				総数	うち女性	総数	うち女性									総数	うち女性	総数	うち女性				
尼崎6	尼崎	3	81.63	31	1	33	1	2	0	東播第14	明石	3	81.55	46	0	48	0	2	0				
	尼崎北	4	95.08	39	0	41	0	2	0		明石西	4	97.55	35	2	34	2	-1	0				
	尼崎東	4	96.67	44	0	50	2	6	2		明石北	3	87.47	42	0	42	0	0	0				
	尼崎西	4	82.73	35	2	37	2	2	0		明石南	3	92.69	21	0	20	0	-1	0				
	尼崎南	4	84.67	33	4	38	4	5	0		小計		89.82	144	2	144	2	0	0				
	尼崎中	4	77.08	23	1	24	3	1	2		高砂	4	89.16	41	3	40	3	-1	0				
	小計		86.31	205	8	223	12	18	4		加古川	4	84.44	78	0	77	0	-1	0				
阪神第16	伊丹	4	94.37	42	0	40	0	-2	0	東播第25	加古川中央	4	84.41	59	0	59	0	0	0				
	川西	4	93.01	31	6	31	6	0	0		高砂青松	4	84.93	43	2	43	2	0	0				
	伊丹有明	1	100.00	19	0	18	0	-1	0		加古川平成	3	89.30	16	1	17	1	1	0				
	川西猪名川	3	92.00	21	3	18	3	-3	0		小計		86.45	237	6	236	6	-1	0				
	伊丹昆陽池	3	90.46	8	0	7	0	-1	0		東播第35	三木	4	100.00	51	0	53	1	2	1			
	西宮イブニング	3	97.67	20	8	20	8	0	0			小野加東	3	92.10	45	1	48	1	3	0			
小計		94.59	141	17	134	17	-7	0	北条	4		100.00	37	2	39	2	2	0					
阪神第26	西宮	4	100.00	54	0	53	0	-1	0	西脇		3	96.90	46	0	46	1	0	1				
	芦屋	4	80.14	41	0	43	0	2	0	三木みどり		3	97.84	32	1	31	1	-1	0				
	甲子園	4	85.63	38	2	40	2	2	0	小計		97.37	211	4	217	6	6	2					
	西宮夙川	4	97.29	34	3	34	3	0	0	淡路5	洲本	4	91.43	33	1	36	0	3	-1				
	芦屋川	3	82.22	29	4	28	4	-1	0		南淡路	4	91.66	29	3	33	4	4	1				
西宮恵美寿	4	84.38	24	5	25	4	1	-1	淡路三原		4	95.83	18	1	20	1	2	0					
小計		88.28	220	14	223	13	3	-1	津名		4	87.39	31	1	32	1	1	0					
阪神第38	宝塚	3	92.98	21	2	19	1	-2	-1		西播第16	あわじ中央	4	91.30	24	0	23	0	-1	0			
	三田	3	89.56	20	0	20	0	0	0	小計			91.52	135	6	144	6	9	0				
	篠山	3	100.00	45	0	46	0	1	0	姫路		4	90.24	82	0	84	1	2	1				
	柏原	4	90.69	49	0	47	0	-2	0	姫路南		3	100.00	75	0	74	0	-1	0				
	宝塚武庫川	4	85.38	37	1	37	1	0	0	姫路西		4	84.07	71	2	67	2	-4	0				
	三田南	4	100.00	8	0	8	0	0	0	姫路東		3	100.00	67	2	68	2	1	0				
	宝塚中	4	91.44	31	8	32	8	1	0	神崎		4	83.67	26	0	28	0	2	0				
	HYOGO REC	3	69.00	24	5	25	6	1	1	姫路中央		4	100.00	4	0	4	0	0	0				
小計		89.88	235	16	234	16	-1	0	小計		93.00	325	4	325	5	0	1						
神戸第16	神戸	3	91.21	161	2	155	3	-6	1	西播第24	赤穂	4	94.83	34	0	34	0	0	0				
	神戸東	4	84.93	113	0	117	0	4	0		相生	4	100.00	34	2	35	2	1	0				
	神戸東灘	3	77.00	27	4	29	4	2	0		龍野	4	97.30	49	5	43	5	-6	0				
	神戸南	3	73.65	82	0	84	0	2	0		上郡佐用	4	100.00	24	8	23	8	-1	0				
	神戸六甲	3	75.97	15	0	16	0	1	0		小計		98.03	141	15	135	15	-6	0				
	神戸ベイ	4	79.20	19	2	20	2	1	0		但馬5	豊岡	4	96.69	38	0	39	0	1	0			
小計		80.33	417	8	421	9	4	1	生野	4		86.90	22	0	22	0	0	0					
神戸第27	神戸西	4	89.99	50	5	49	5	-1	0	香住		4	87.50	12	0	13	0	1	0				
	神戸須磨	4	97.61	31	0	32	0	1	0	豊岡円山川		4	91.19	27	0	27	0	0	0				
	神戸北	3	97.61	18	1	14	1	-4	0	和田山		4	98.00	24	2	25	2	1	0				
	神戸垂水	3	96.97	25	4	26	6	1	2	小計		92.06	123	2	126	2	3	0					
	神戸西神	4	94.40	39	1	38	1	-1	0	合計		73RC		90.91	2,763	118	2,792	129	29	11			
神戸中	3	92.93	38	3	38	4	0	1															
神戸モーニング	4	90.00	28	2	33	3	5	1															
小計		94.22	229	16	230	20	1	4															

◆クラブ数..... 73RC
 ◆2018年7月1日 クラブ会員数.....2,763人
 ◆2019年5月末 クラブ会員数.....2,792人

◆2019年5月末女性会員数..... 129人
 ◆2019年5月平均出席率.....90.91%
 ◆増減..... 29人増